

2023 年度学校評価

～未来の成長にむけてのアンケート調査報告～

シュタイナー学園 初・中・高等部

1. アンケートの実施方法について

2023 年度の学校評価は「未来の成長のための質問」という形で、全世帯にアンケートを出し、保護者のみなさまが感じ考えていることを分かりやすく集計するための工夫を行いました。

アンケートは大きな四つの部分によって構成されています。

第Ⅰ部：教育に関する15項目

第Ⅱ部：生徒指導に関する9項目

第Ⅲ部：防災・防犯・施設に関する9項目

第Ⅳ部：学校運営に関する9項目

アンケートは、上記の項目を以下の様に6段階の数値で選んでいただき、各部分の最後に自由記述欄を設け、ご意見を書いていただける形にしました。

- 5 とてもそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全く思わない
- 0 わからない
- 自由記述欄

アンケート結果は、全体の状況を把握するために以下の5つの部門によって、まとめられています。

- (1) 学園全体の集計
- (2) 初等部1～3年生の集計
- (3) 初等部4～6年生の集計
- (4) 中等部7～9年生の集計
- (5) 高等部10～12年の集計

紙面の都合で、自由記述欄の全文は掲載していませんが、いただいた文章を AI によるテキストマイニングによって、キーワード等を抽出したものを掲載しております。

アンケートは97人の生徒の保護者から回収されました。以下が、各校種ごとのアンケート回収数です。

初等部：54人（内1～3年：24人、4～6年：30人） 中等部：23人 高等部：21人

第Ⅰ部

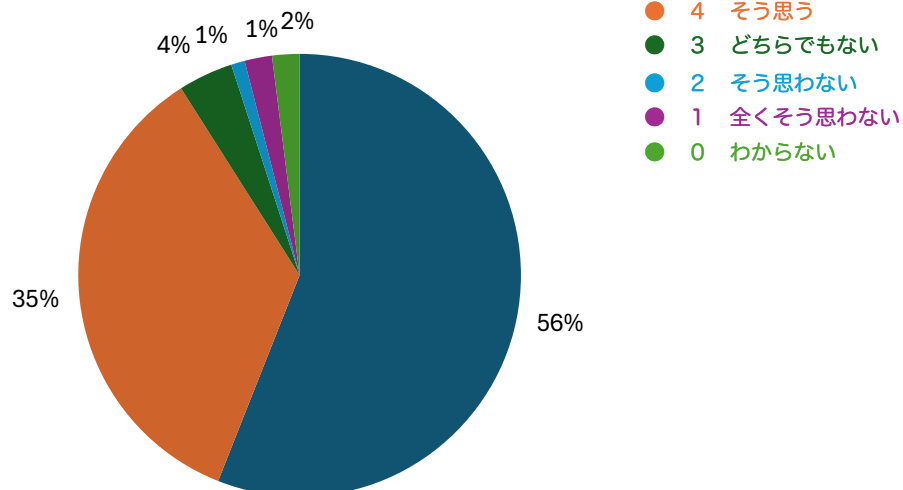
教育に関する15項目

<質問項目一覧>

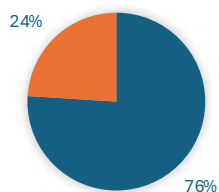
- ① 子どもは喜びを持って学校に通っている
- ② 子どもは友達と積極的に関わろうとしている
- ③ 子どもは、家庭で、整ったリズムで生活している。(食事や睡眠など)
- ④ 子どもは、家庭で、自ら進んで学びの準備や復習をしている
- ⑤ 子どもは、家庭学習の習慣がついている。
- ⑥ 子どもは、挨拶の習慣がついている。
- ⑦ 子どもは、安全に気をつけて行動することができる。
- ⑧ 学校は、子どもに、学年段階にあった内容で授業を行っている。
- ⑨ 学校は、創造性や芸術性を盛り込んだ授業を行っている。
- ⑩ 学校は、子どもに、自然と触れる機会、授業を作っている。
- ⑪ 学校は、子どもに、社会(地域や働く人々)と触れる機会、授業を作っている。
- ⑫ 学校は、学年段階に応じて、命や性の大切さを尊重する意識を育てている。
- ⑬ 学期祭は、学校全体にとって価値ある活動になっている。
- ⑭ 運動会は、学校全体にとって価値ある活動になっている。
- ⑮ お子さんをシュタイナー学園に入学させて良かったと思っている。

教育1-1 子どもは喜びを持って学校に通っている

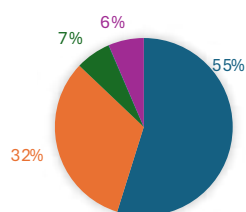
【学園全体】



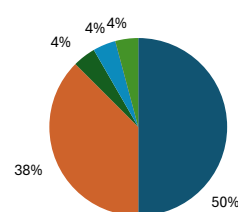
【初等部 1-3年】



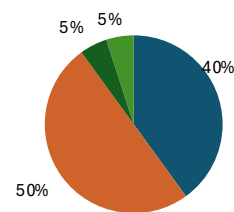
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



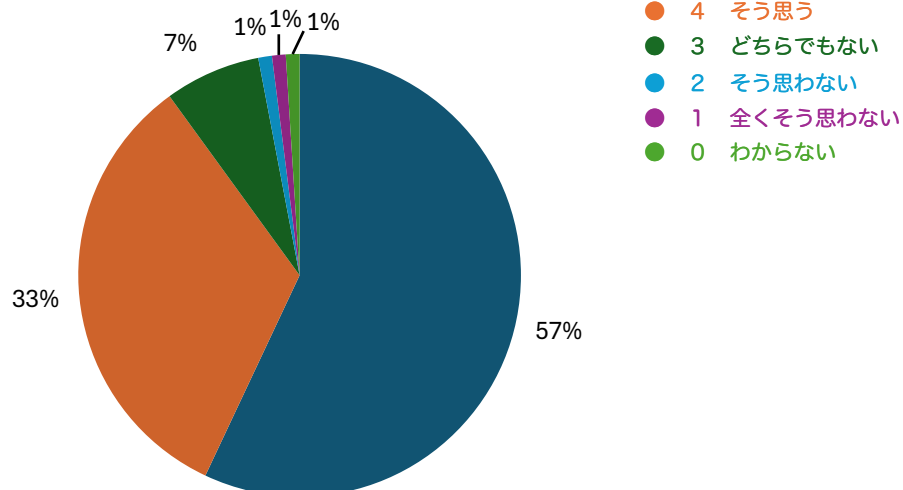
【高等部 10-12年】



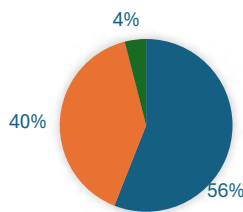
【コメント】

教育1-2 子どもは友だちと積極的に関わろうとしている

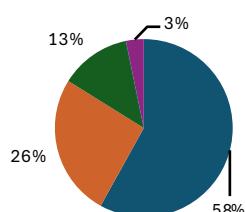
【学園全体】



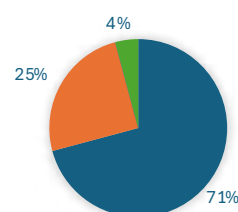
【初等部 1-3年】



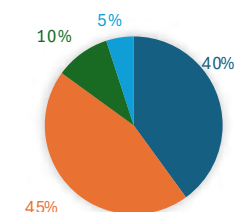
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



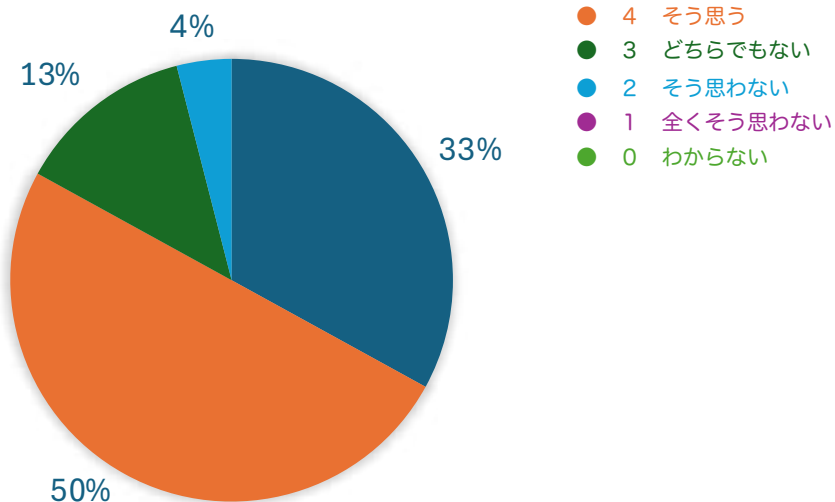
【高等部 10-12年】



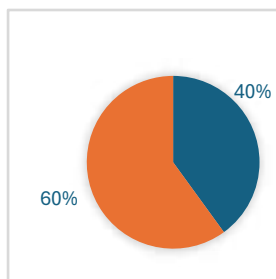
【コメント】

教育1-3 子どもは、家庭で、整ったリズムで生活している。（食事や睡眠など）

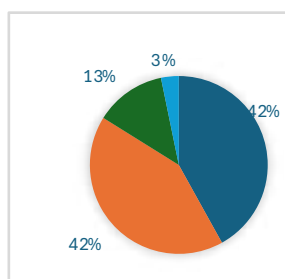
【学園全体】



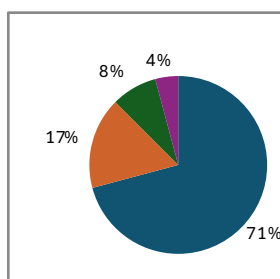
【初等部 1-3年】



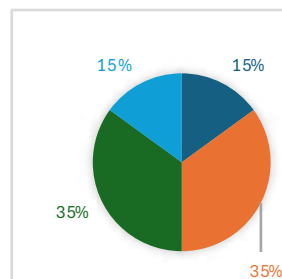
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

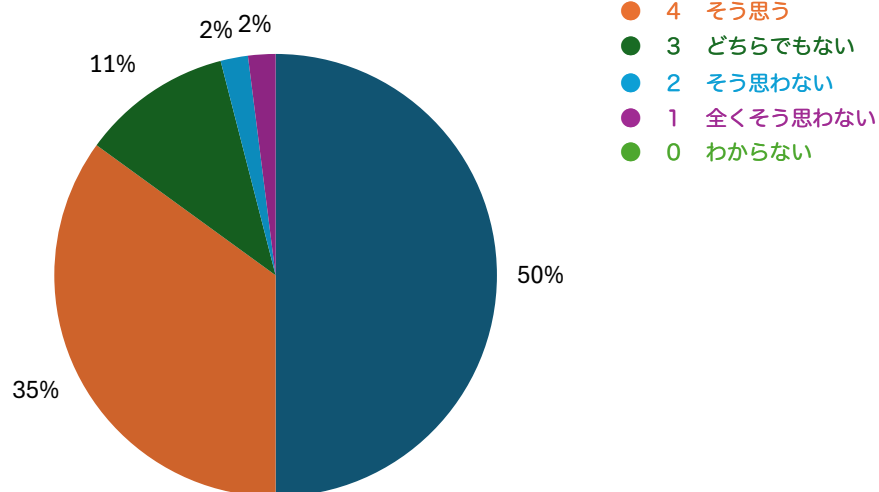


【コメント】

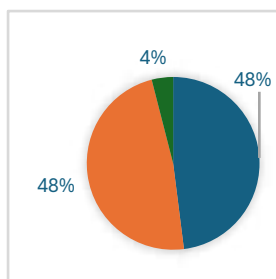
習い事をはじめたり、課外活動が多くなり始める学年では、生活リズムを作りにくい傾向があると思われます。

教育1-4 子どもは、家庭で、自ら進んで学びの準備や復習をしている

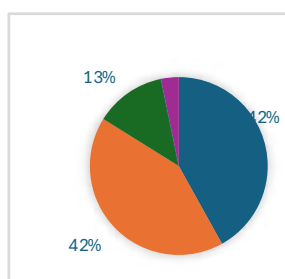
【学園全体】



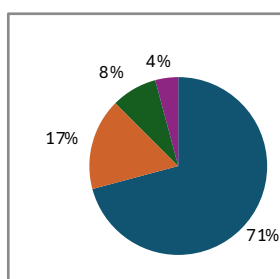
【初等部 1-3年】



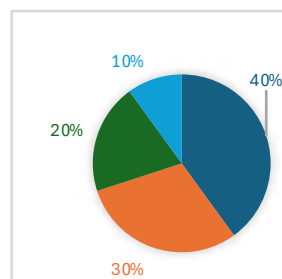
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

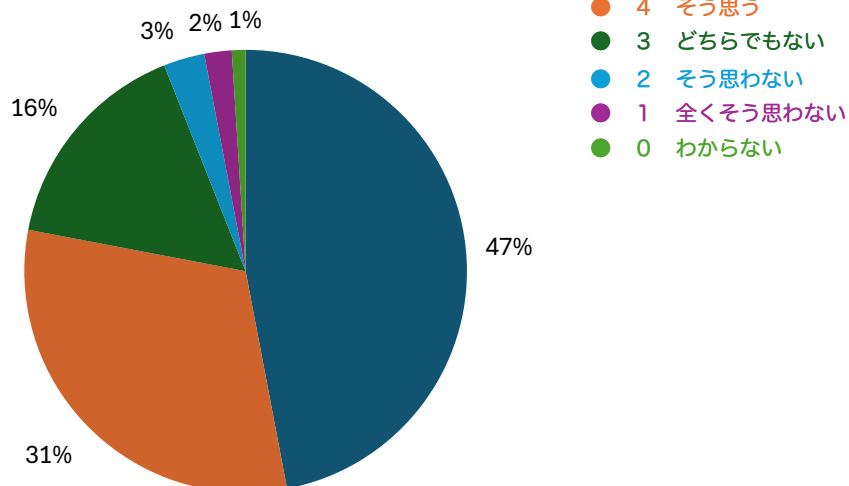


【コメント】

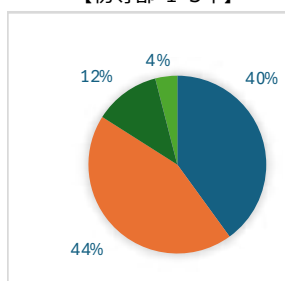
高等部の遠距離通学や部活動の増加と学びの関係性について考えていく必要があります。

教育1-5 子どもは、家庭学習の習慣がついている

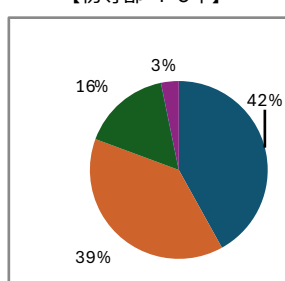
【学園全体】



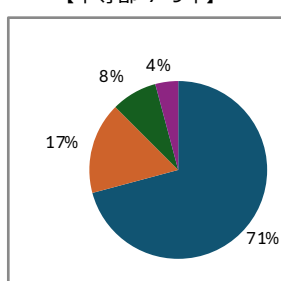
【初等部 1-3年】



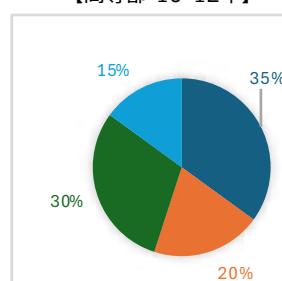
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

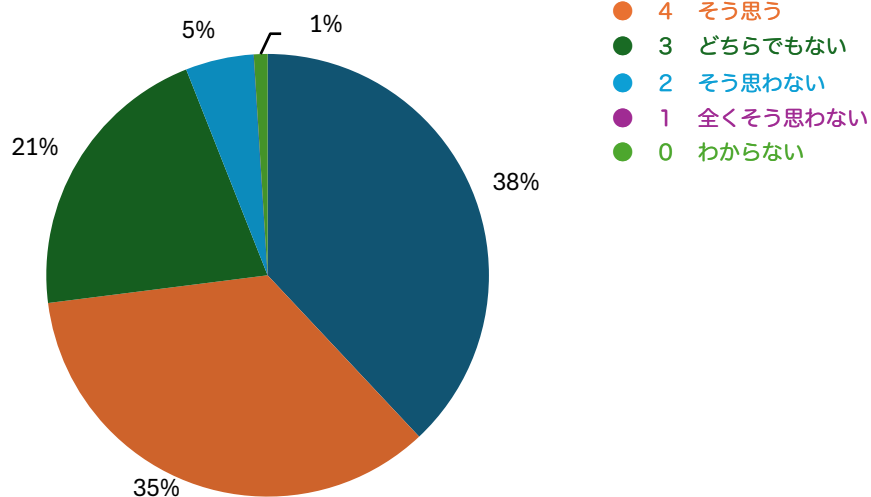


【コメント】

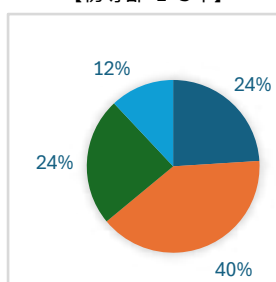
高等部の遠距離通学や部活動の増加と学びの関係性について考えていく必要があります。

教育1-6 子どもは、挨拶の習慣がついている

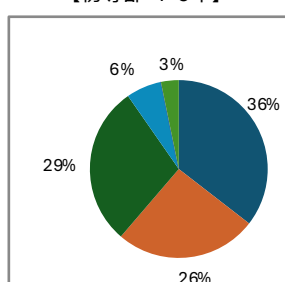
【学園全体】



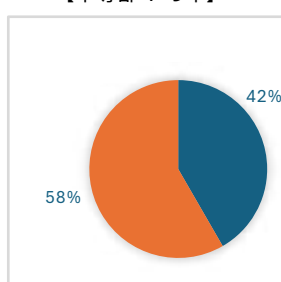
【初等部 1-3年】



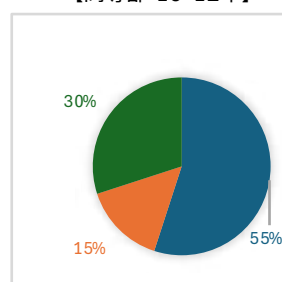
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

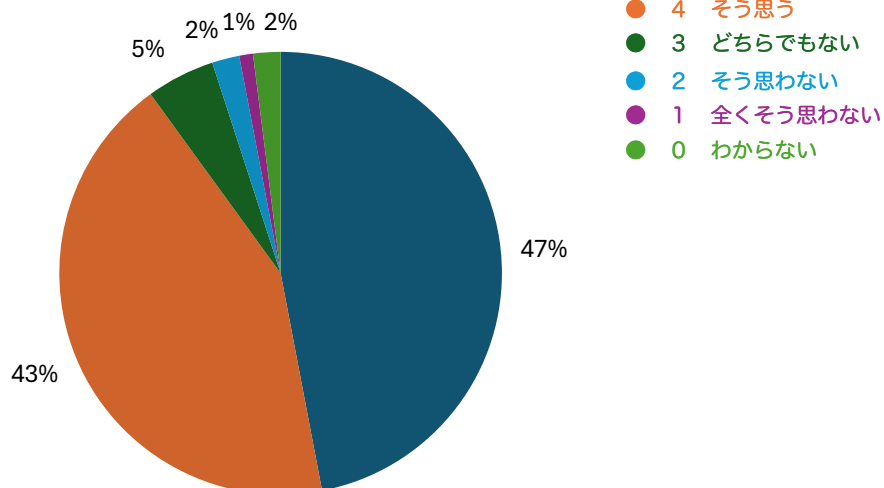


【コメント】

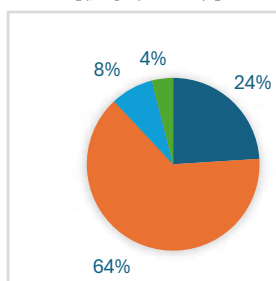
学年が上がるにつれて、挨拶できるようになる傾向があるようです。

教育1-7 子どもは、安全に気をつけて行動することができる

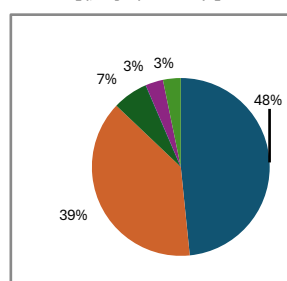
【学園全体】



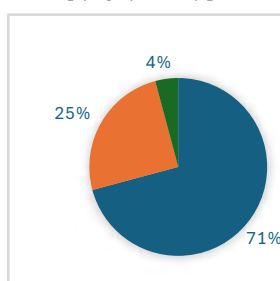
【初等部 1-3年】



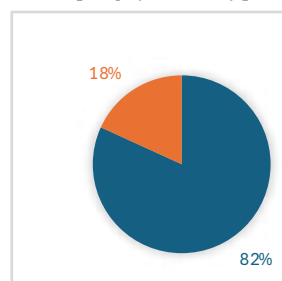
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

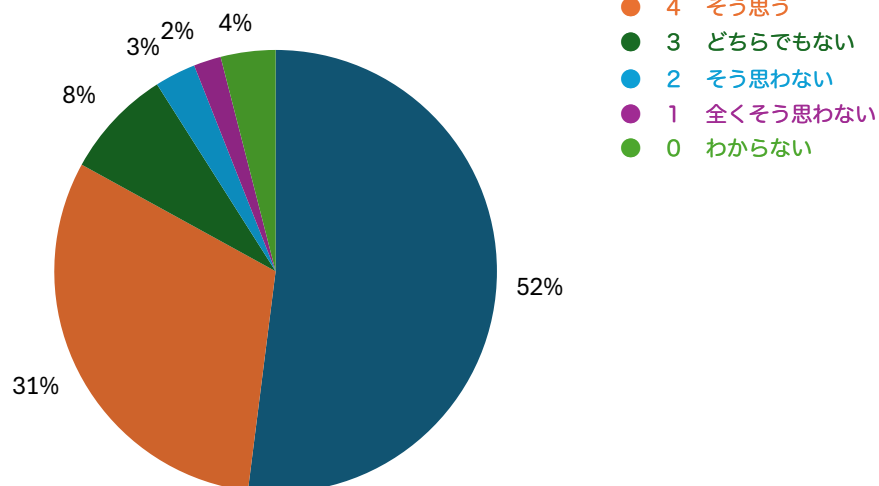


【コメント】

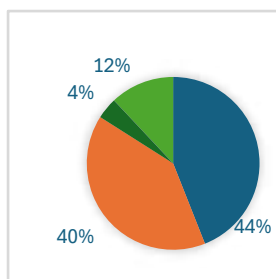
学園が上がるにつれて、安全への意識が高まっていくことが見て取れます。

教育1-8 学校は、子どもに、学年段階にあった内容で授業を行っている

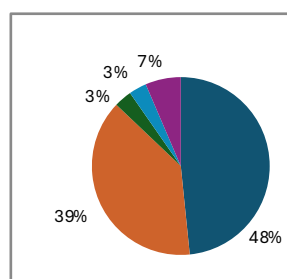
【学園全体】



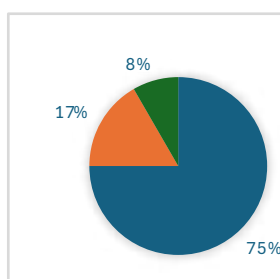
【初等部 1-3年】



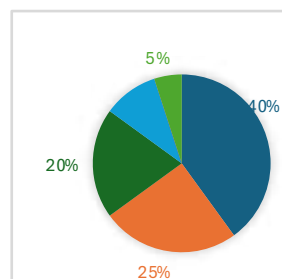
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

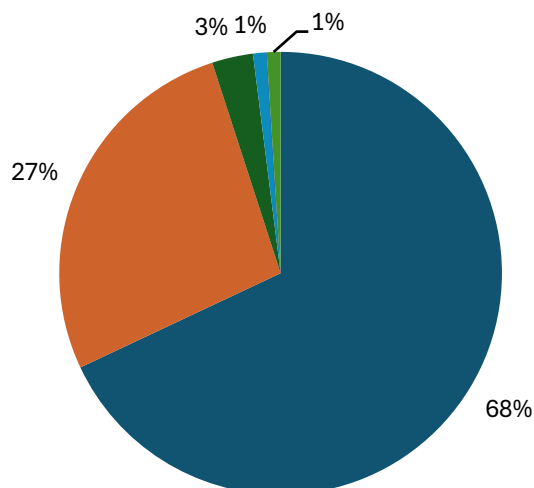


【コメント】

低学年の保護者のみなさんへのカリキュラム等の説明が必要なが分かります。高等部のカリキュラム説明も重要です。

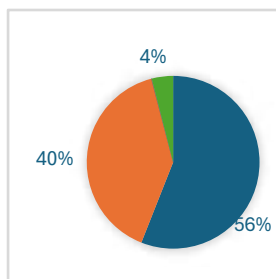
教育1-9 学校は、創造性や芸術性を盛り込んだ授業を行っている

【学園全体】

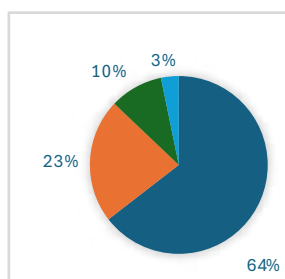


- 5 強く思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

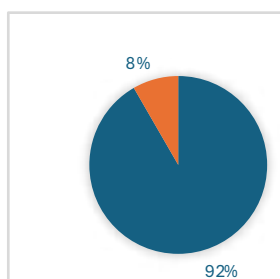
【初等部 1-3年】



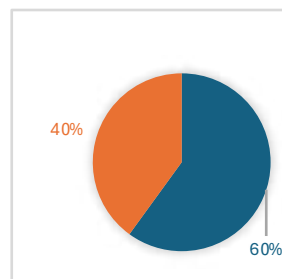
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



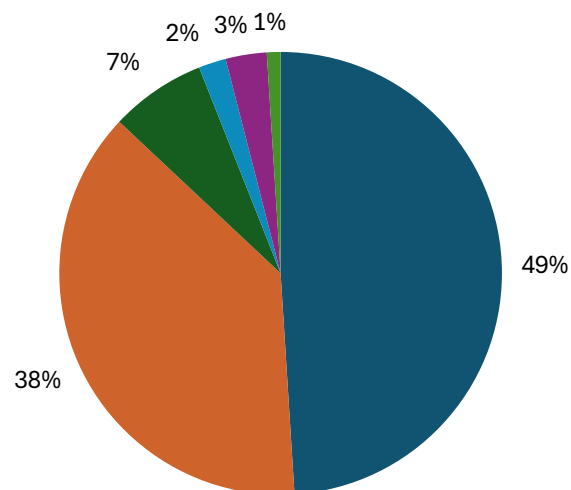
【高等部 10-12年】



【コメント】

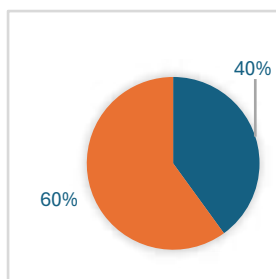
教育1-10 学校は、子どもに、自然と触れる機会、授業を作っている

【学園全体】

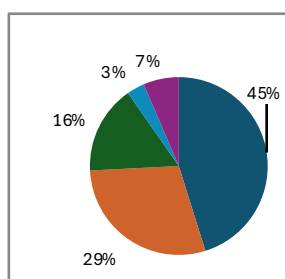


- 5 強く思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

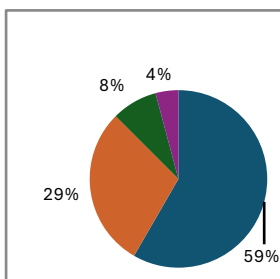
【初等部 1-3年】



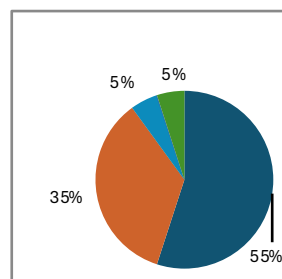
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



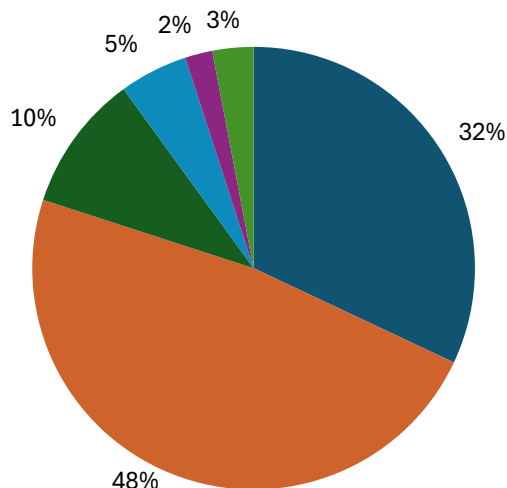
【高等部 10-12年】



【コメント】

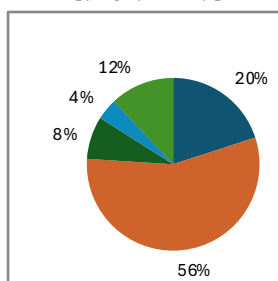
教育1-11 学校は、子どもに、社会（地域や働く人々）と触れる機会、授業を作っている

【学園全体】

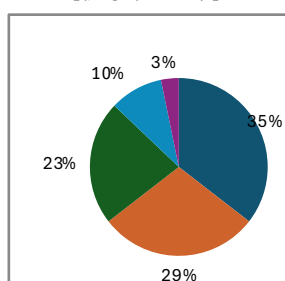


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

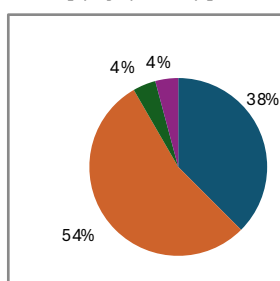
【初等部 1-3年】



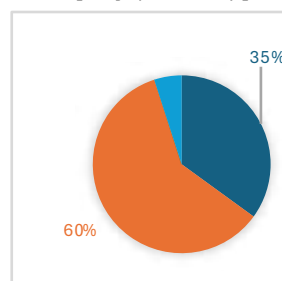
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



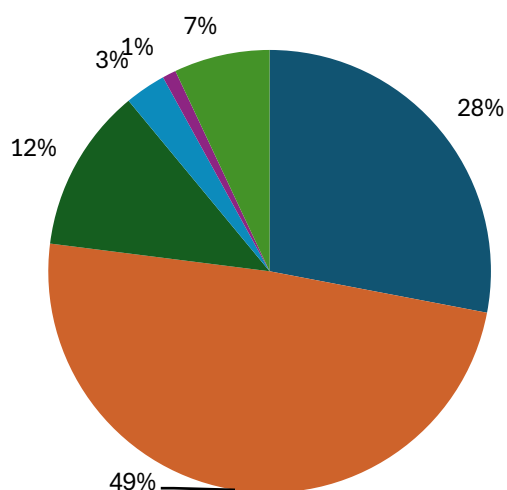
【高等部 10-12年】



【コメント】

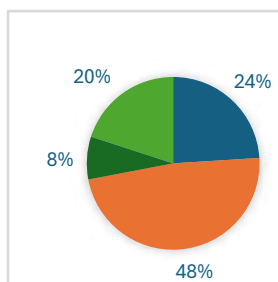
教育1-12 学校は、学年段階に応じて、命や性の大切さを尊重する意識を育てている

【学園全体】

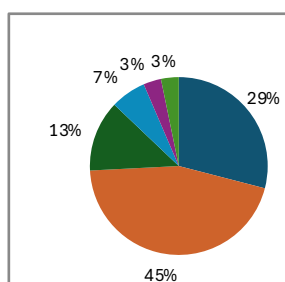


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

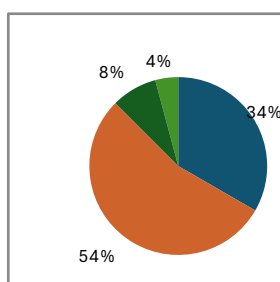
【初等部 1-3年】



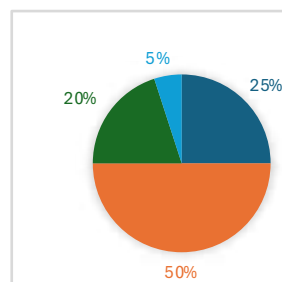
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

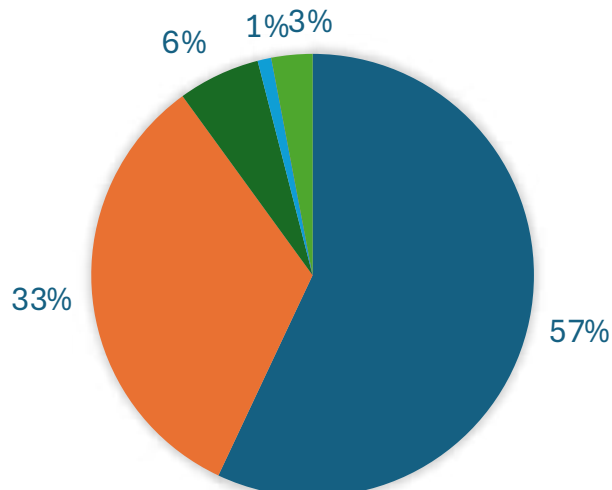


【コメント】

この数年は「生命／性」についてのカリキュラムを継続検討しています。

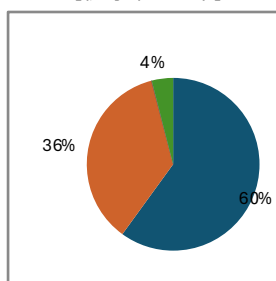
教育1-13 学期祭は、学校全体にとって価値ある活動になっている

【学園全体】

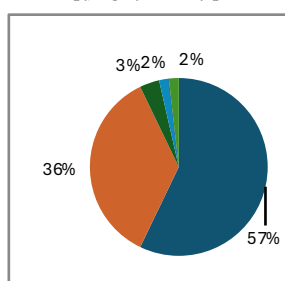


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

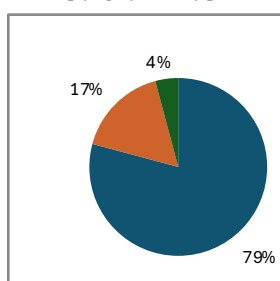
【初等部 1-3年】



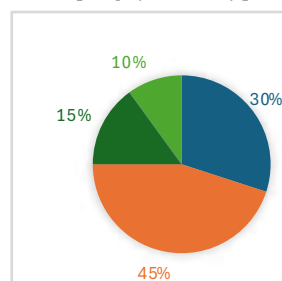
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



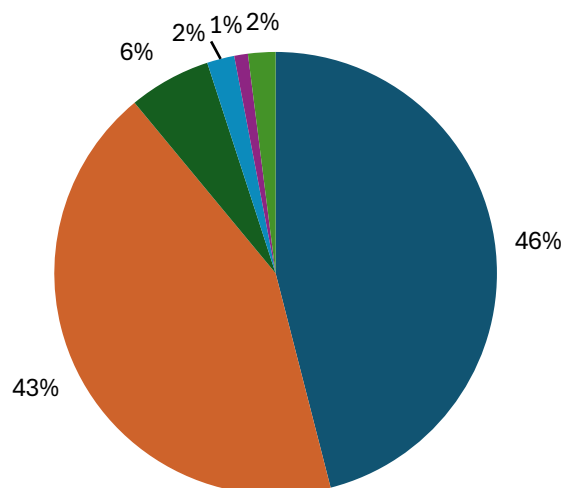
【高等部 10-12年】



【コメント】

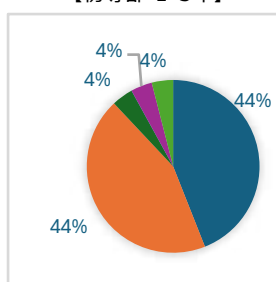
教育1-14 運動会は、学校全体にとって価値ある活動になっている

【学園全体】

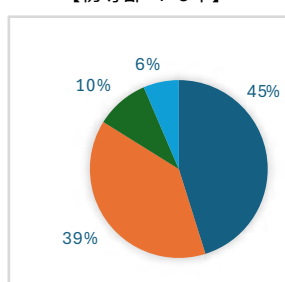


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

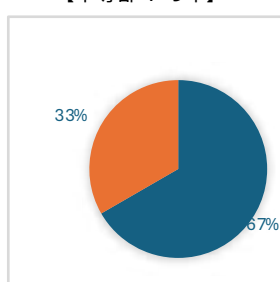
【初等部 1-3年】



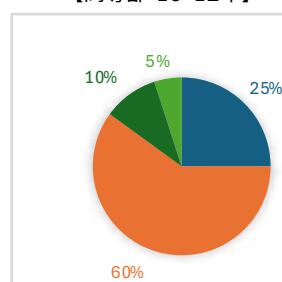
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

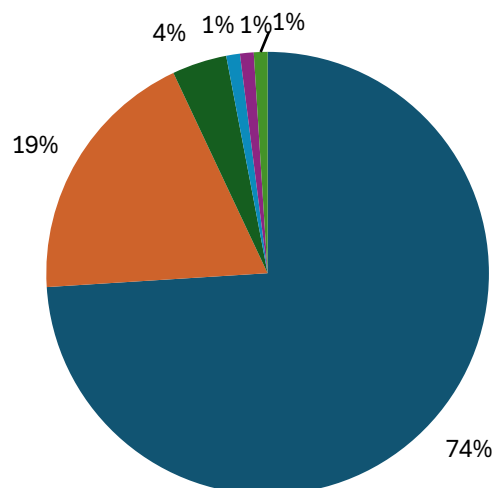


【コメント】

校舎別にするのか、合同で行うかについて、高等部生徒会体育祭実行員と教師会で継続検討中です。

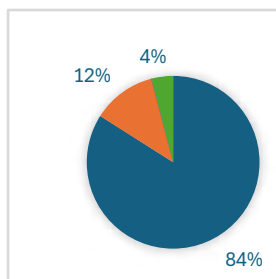
教育1-15 お子さんをシュタイナー学園に入学させて良かったと思っている

【学園全体】

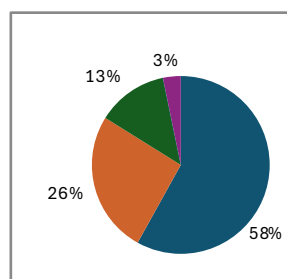


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

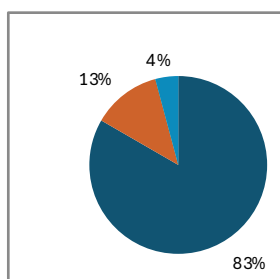
【初等部 1-3年】



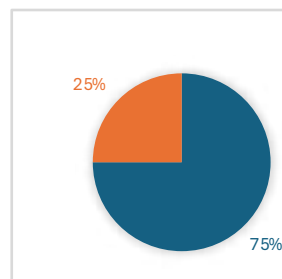
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】



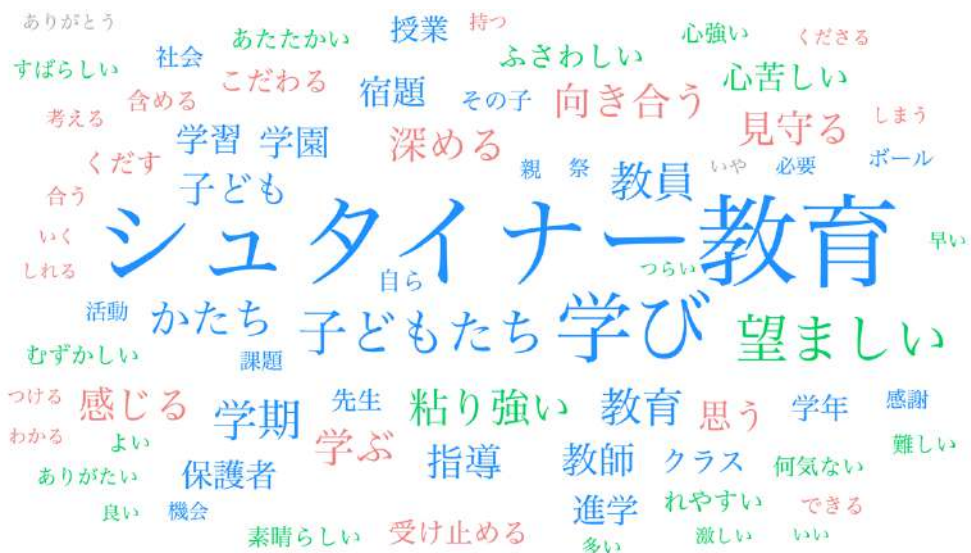
【コメント】

教育部分：自由記述欄の AI テキストマイニング

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

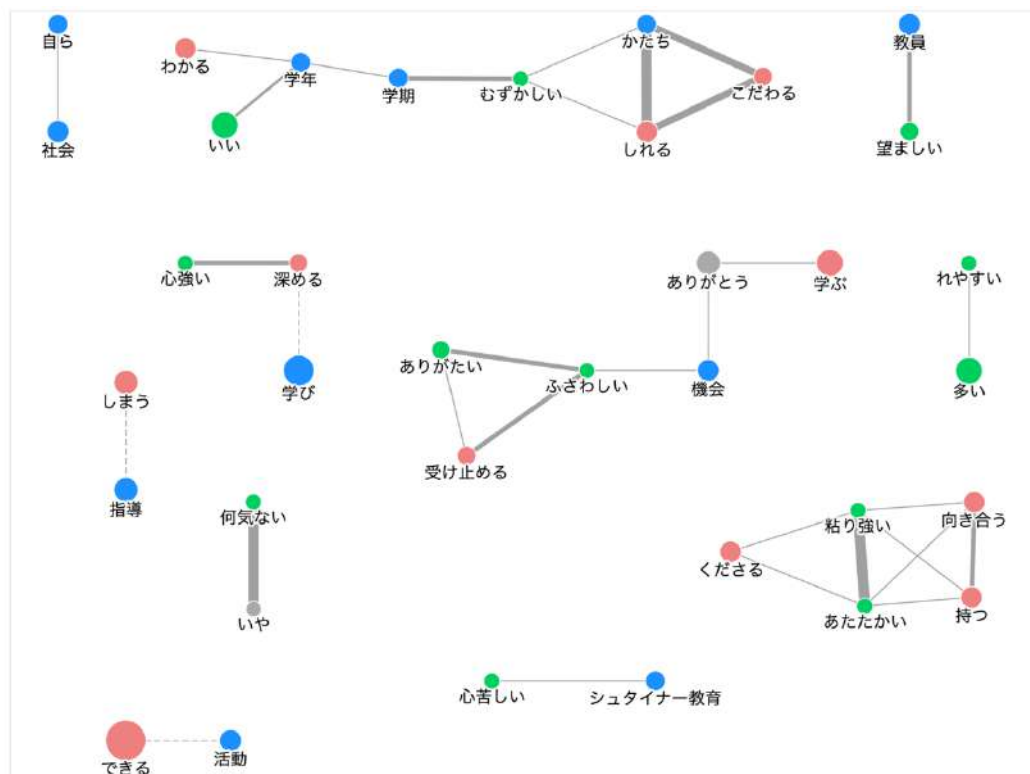
① 単語の「重要度」

自由記述の文章で使われた単語を「重要度(特徴ある単語と使用頻度が大きいもの)」で表しています。重要度の高いものほど大きな字となります。青は名詞、赤は動詞、黄緑色は形容詞、灰色は感嘆詞です。自由記述欄でキーワードになる単語集と言えます。



② どの単語同士が文章中で結びついているか:「共起頻度」

出現数が多い語ほど●が大きくなり、共起の程度は強くなると 太い実線 > 細い実線 > 破線 でむすばれます。どんな単語が結びつきやすかったかが推測できます。

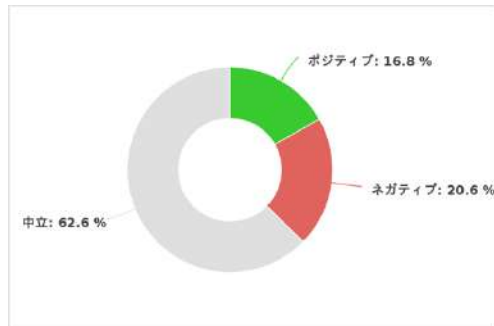


③ どんな文章ができていたか:「単語の2次元マップ」

文章中での出現傾向が似た単語ほど近くに配置されています。似ていない単語ほど遠く配置されています。距離が近い単語はグループにまとめ、色分けされています。この分析によって、どんな文が多かったかが推測できます。



④ 文章中の感情の割合(1):「ポジティブ—中立—ネガティブ感情」



文書全体を分析し、感情の傾向を可視化しています。「ポジネガ」は、文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比を示しています。

⑤ 文章中の感情の割合(2):「5つの感情」



文章に含まれる各感情の度合いを数値に換算しています。なお、各感情の数値は、全ての感情の平均値を50とした偏差値です。

喜び:41.0
怒り:24.4
恐れ:61.0
悲しみ:82.6
好き:41.0

第Ⅱ部

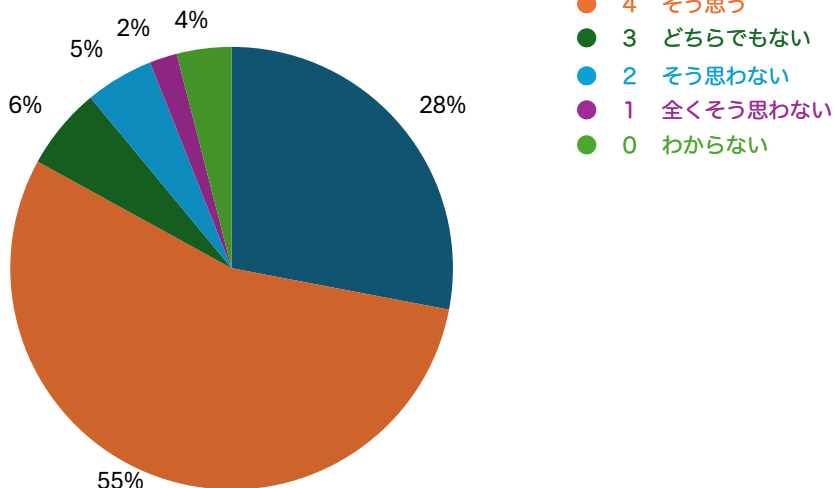
生徒指導に関する9項目

<質問項目一覧>

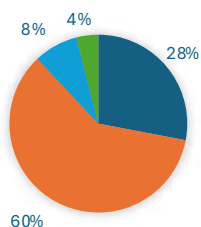
- ① 教員は、子どものよさや気持ちを理解してくれている。
- ② 教員は、子どもの間違った行動を理解し、指導している。
- ③ 教員は、子どもの相談に適切にのっている。
- ④ 教員は、子どものことについて、適切に相談に応じてくれる。
- ⑤ 教員は、家庭、クラスへの連絡を細かく適切に行っている。
- ⑥ 子どもは、先生やクラスメートなどと好ましい関わりを作っている。
- ⑦ 子どもは、自ら善いことをすることができるようになってきている。
- ⑧ 学校は、社会におけるマナーやルールを守る態度を育てている。
- ⑨ 学校は、いじめが発生したときに積極的に取り組んでいる。

指導2-1 教員は、子どものよさや気持ちを理解してくれている

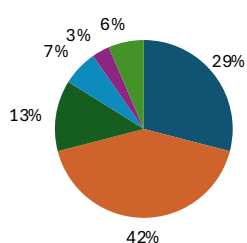
【学園全体】



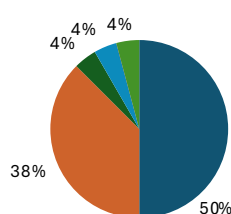
【初等部 1-3年】



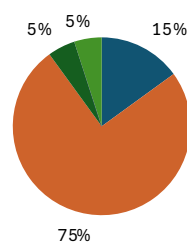
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



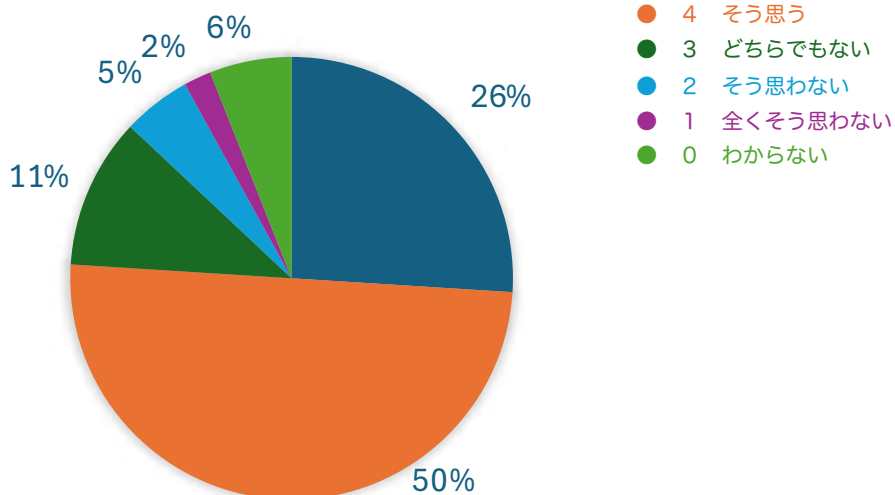
【高等部 10-12年】



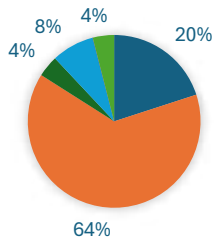
【コメント】

指導2-2 教員は、子どもの間違った行動を理解し、指導している

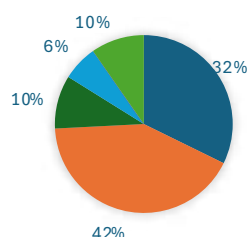
【学園全体】



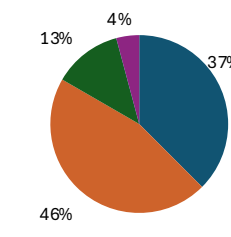
【初等部 1-3年】



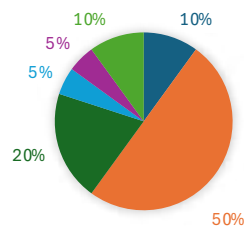
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



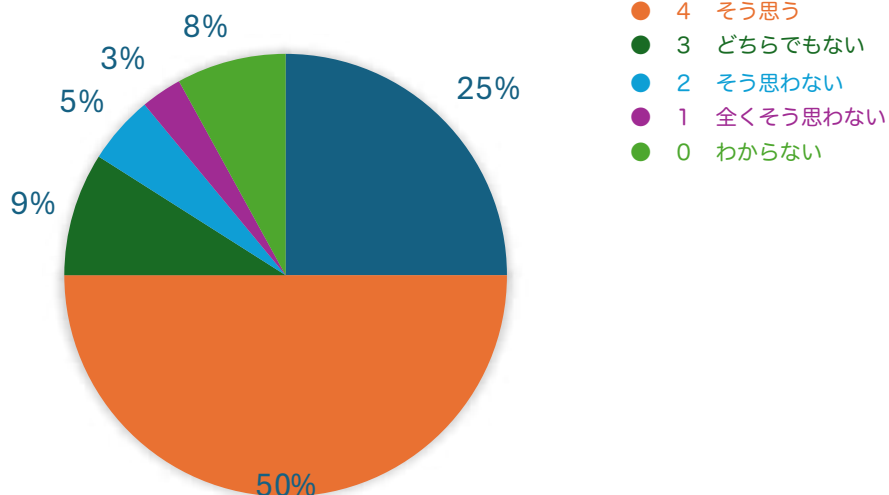
【高等部 10-12年】



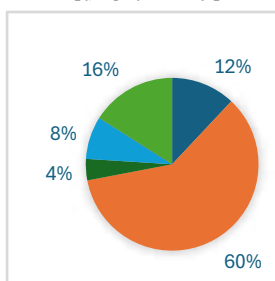
【コメント】

指導2-3 教員は、子どもの相談に適切にのっている

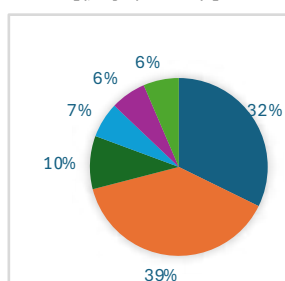
【学園全体】



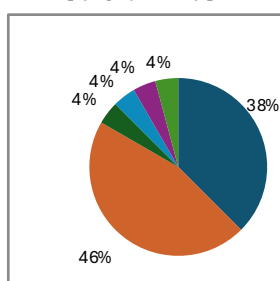
【初等部 1-3年】



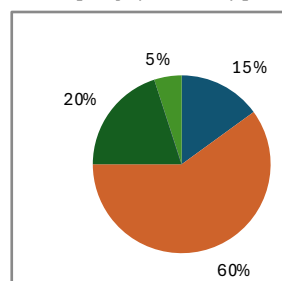
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



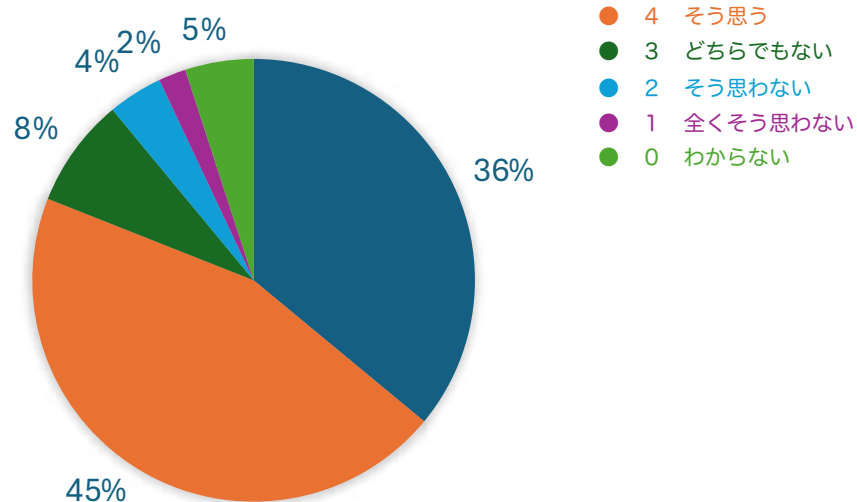
【高等部 10-12年】



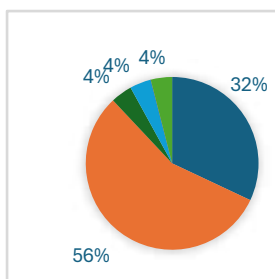
【コメント】

指導2-4 教員は、子どものことについて、適切に相談に応じてくれる

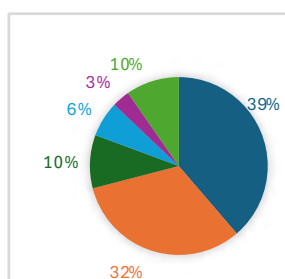
【学園全体】



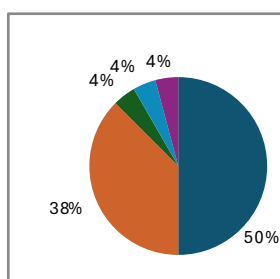
【初等部 1-3年】



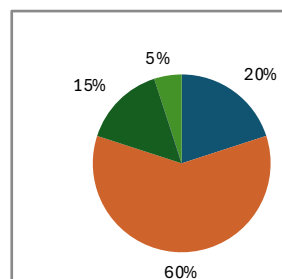
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



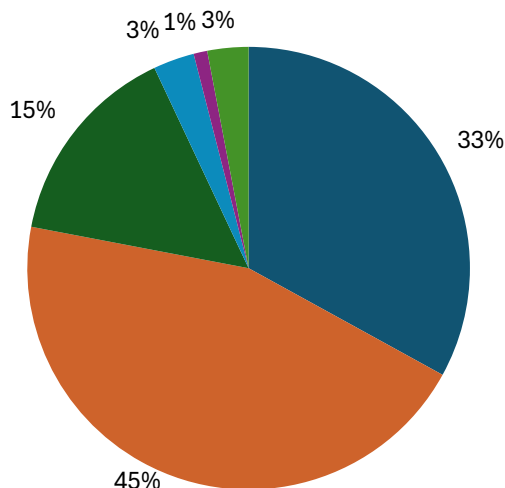
【高等部 10-12年】



【コメント】

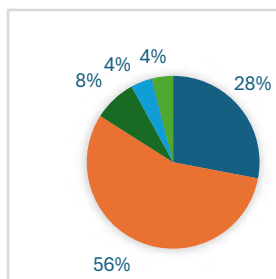
指導2-5 教員は、家庭、クラスへの連絡を細かく適切に行っている

【学園全体】

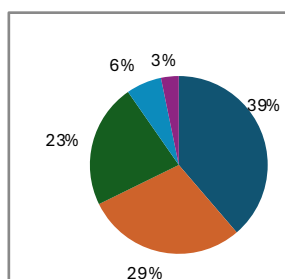


- 5 強く思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

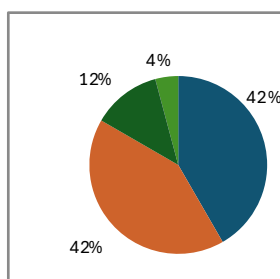
【初等部 1-3年】



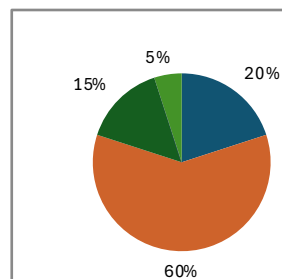
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



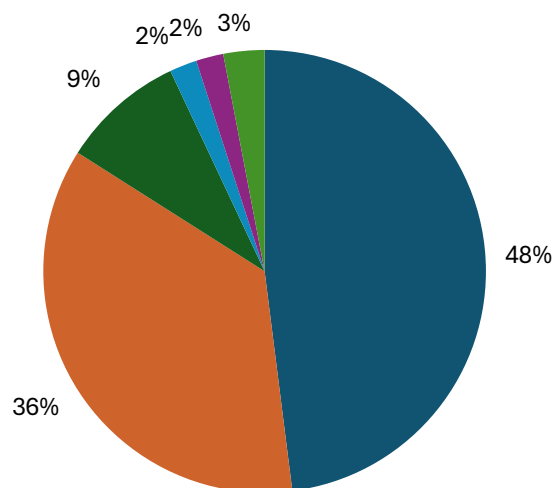
【高等部 10-12年】



【コメント】

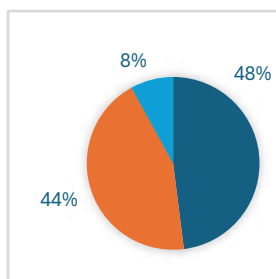
指導2-6 子どもは、先生やクラスメートなどと好ましい関わりを作っている

【学園全体】

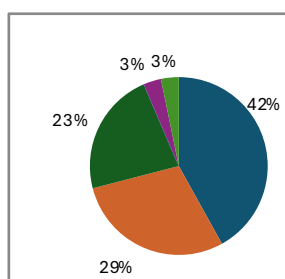


- 5 強く思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

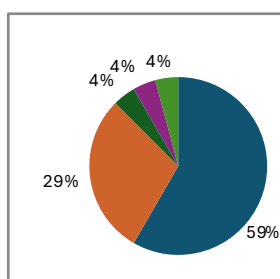
【初等部 1-3年】



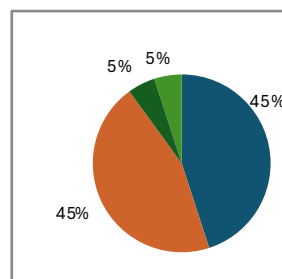
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



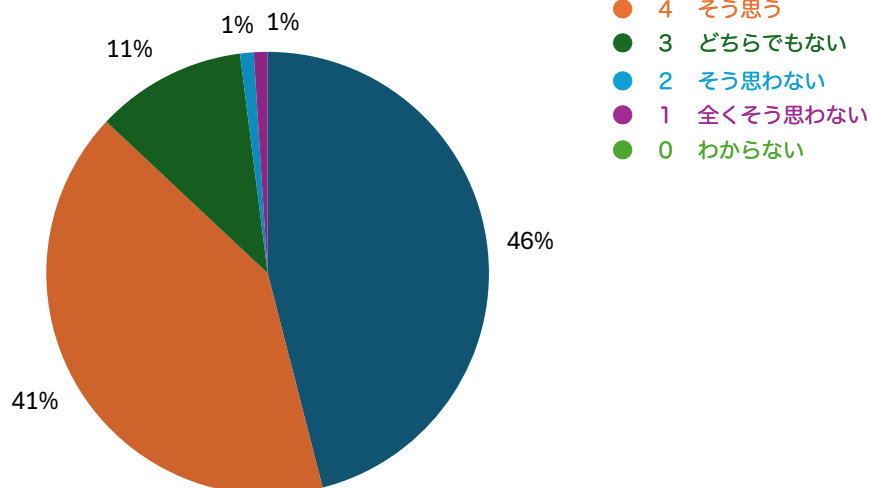
【高等部 10-12年】



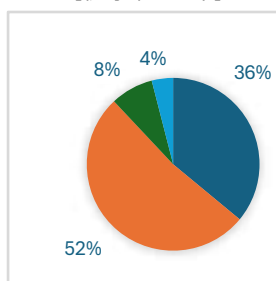
【コメント】

指導2-7 子どもは、自ら善いことをすることができるようになってきている

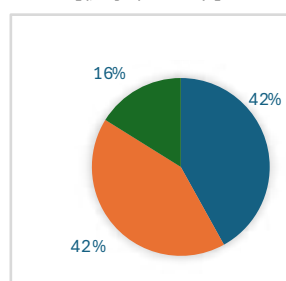
【学園全体】



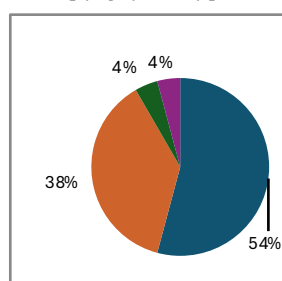
【初等部 1-3年】



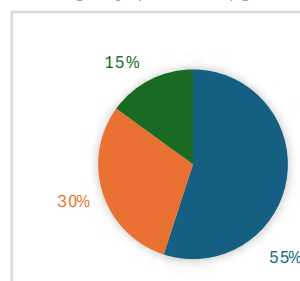
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



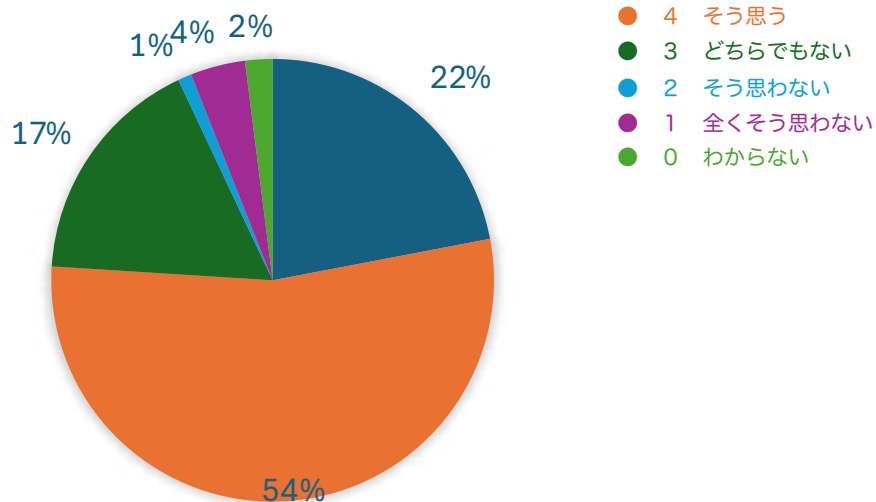
【高等部 10-12年】



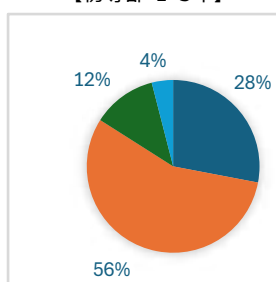
【コメント】

指導2-8 学校は、社会におけるマナーやルールを守る態度を育てている

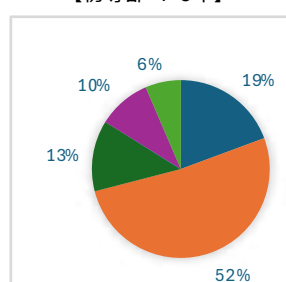
【学園全体】



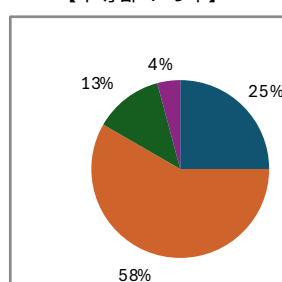
【初等部 1-3年】



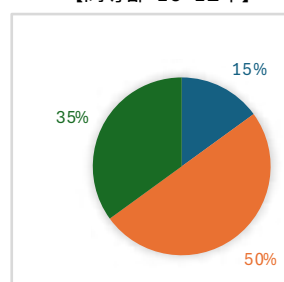
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



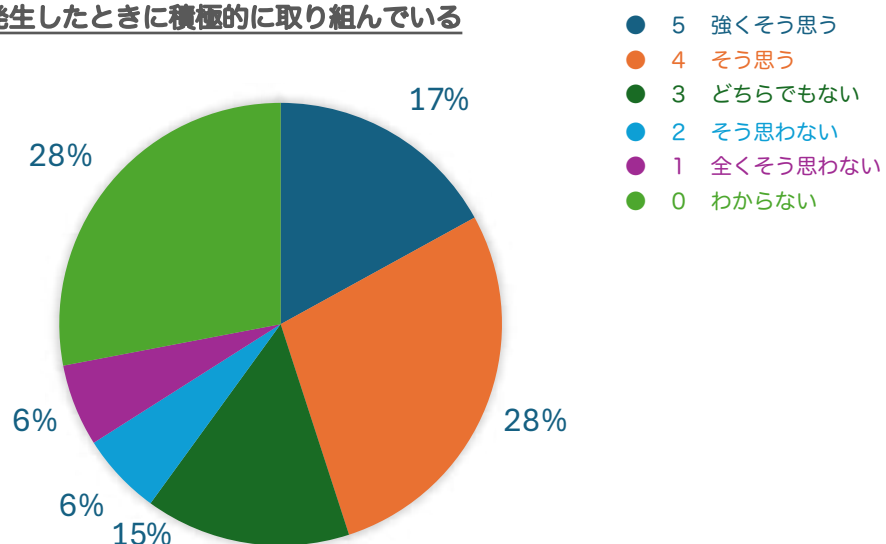
【高等部 10-12年】



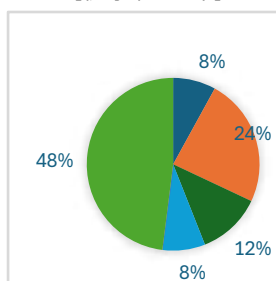
【コメント】

指導2-9 学校は、いじめが発生したときに積極的に取り組んでいる

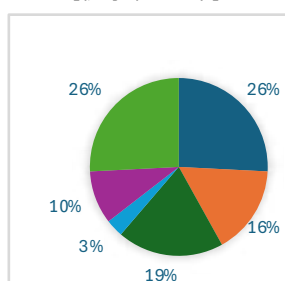
【学園全体】



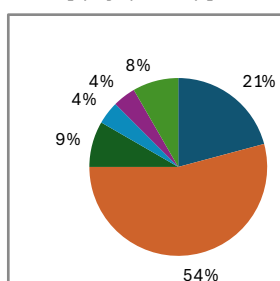
【初等部 1-3年】



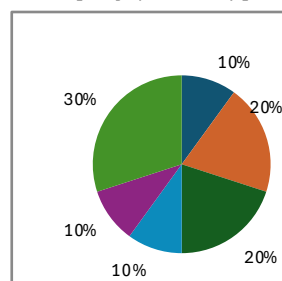
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

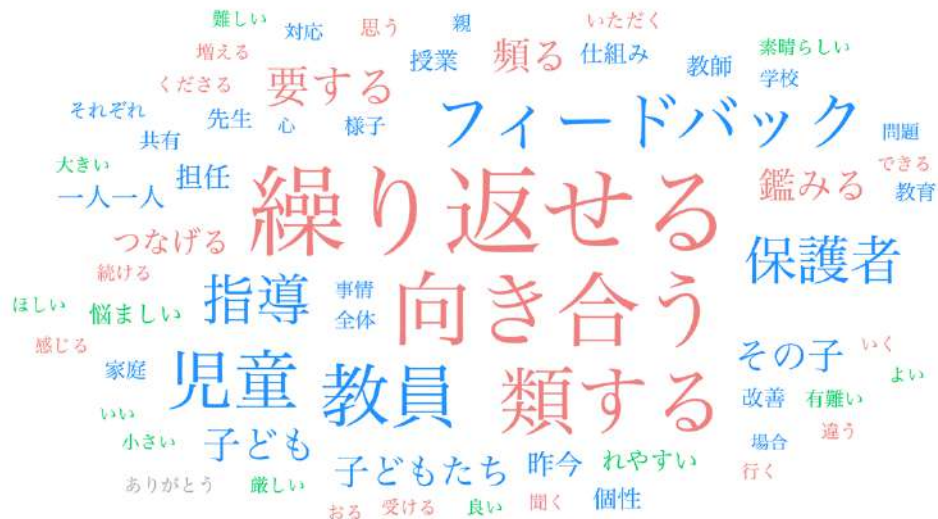


【コメント】

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

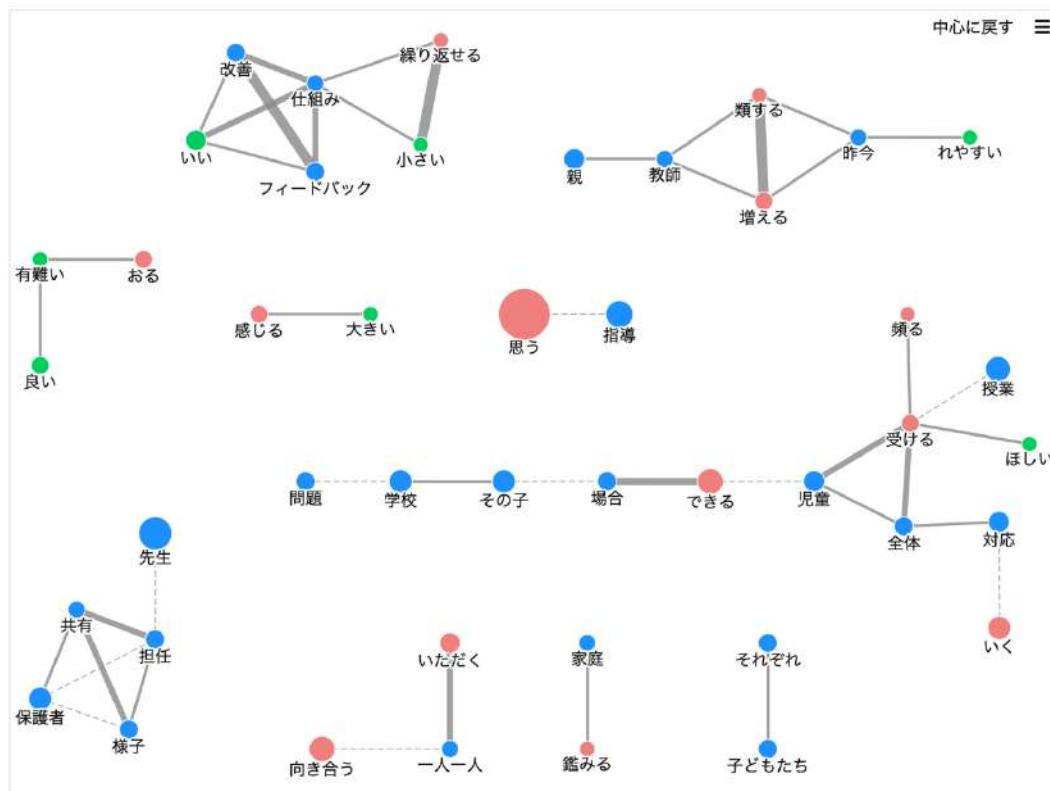
① 単語の「重要度」

自由記述の文章で使われた単語を「重要度（特徴ある単語と使用頻度が大きいもの）」で表しています。重要度の高いものほど大きな字となります。青は名詞、赤は動詞、黄緑色は形容詞、灰色は感嘆詞です。自由記述欄でキーワードになる単語集と言えます。



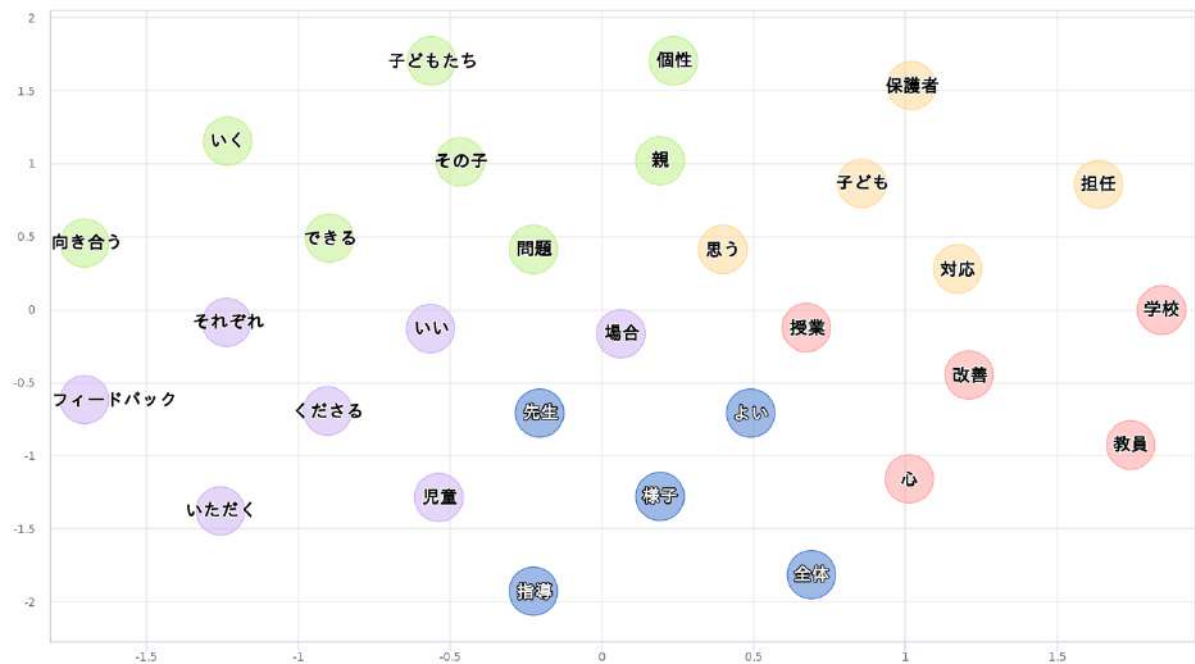
② どの単語同士が文章中で結びついているか:「共起頻度」

出現数が多い語ほど●が大きくなり、共起の程度は強くなると 太い実線 > 細い実線 > 破線 でおすばれます。どんな単語が結びつきやすかったかが推測できます。

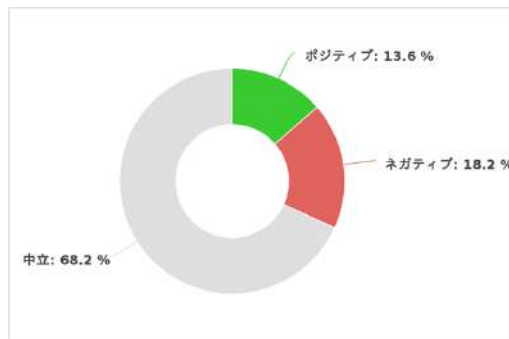


③ どんな文章ができていたか:「単語の2次元マップ」

文章中での出現傾向が似た単語ほど近くに配置されています。似ていない単語ほど遠く配置されています。距離が近い単語はグループにまとめ、色分けされています。この分析によって、どんな文が多かったかが推測できます。

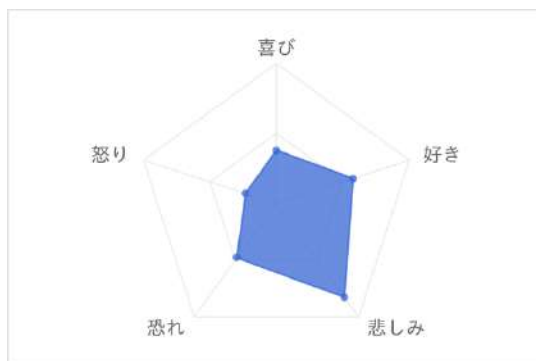


④ 文章中の感情の割合(1):「ポジティブ—中立—ネガティブ感情」



文書全体を分析し、感情の傾向を可視化しています。「ポジネガ」は、文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比を示しています。

⑤ 文章中の感情の割合(2):「5つの感情」



文章に含まれる各感情の度合いを数値に換算しています。なお、各感情の数値は、全ての感情の平均値を50とした偏差値です。

喜び:38.1
怒り:23.2
恐れ:48.0
悲しみ:82.8
好き:57.9

第Ⅲ部

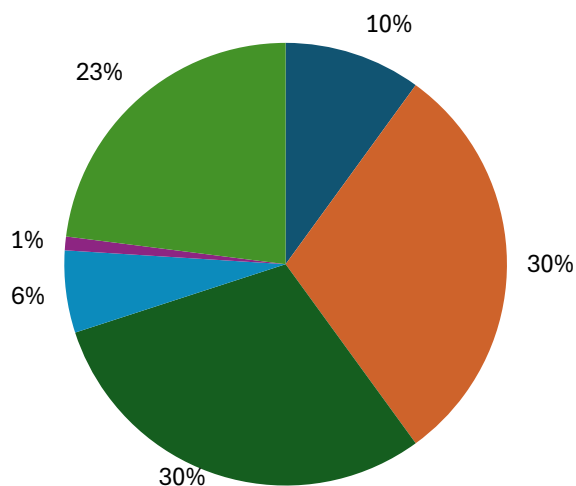
防災・防犯・施設に関する9項目

<質問項目一覧>

- ① 学校は、不審者の侵入防止及び早期発見のための対策を整えている。
- ② 学校は、事故防止に心がけ、適切な配慮をしている。
- ③ 学校は、施設・設備をよく整備・管理している。
- ④ 学校は、施設・設備を衛生的に管理している。
- ⑤ 学校は、地震や火災等の場合、子どもに避難の仕方を知らせている。
- ⑥ 学校は、防災の連絡や防災のための情報を、保護者に適切に伝えている
- ⑦ 防災ホームページは役に立つ。
- ⑧ 学校は緊急事態が起こったときの連絡を、適切に行っている。
- ⑨ さくら連絡網は使いやすい。

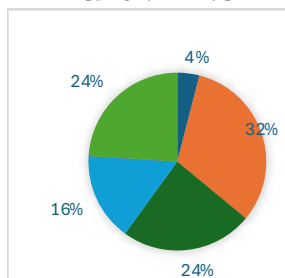
防/施 3-1 学校は、不審者の侵入防止及び 早期発見のための対策を整えている

【学園全体】

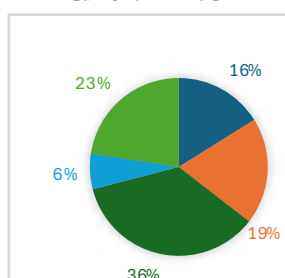


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

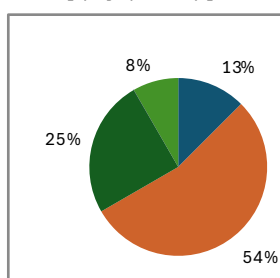
【初等部 1-3年】



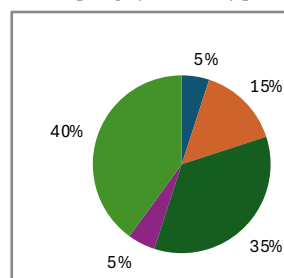
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

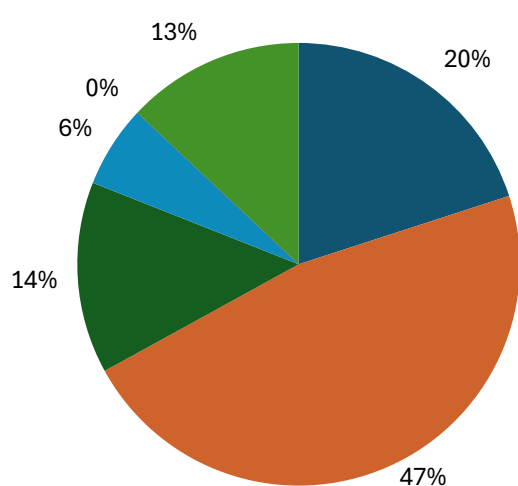


【コメント】

災害対策ほどには防犯対策を発信できていないことが、「わからない」という回答の多さの原因と考えられます。

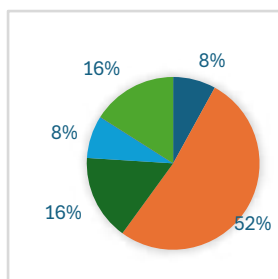
防/施 3-2 学校は、事故防止に心がけ、適切な配慮をしている

【学園全体】

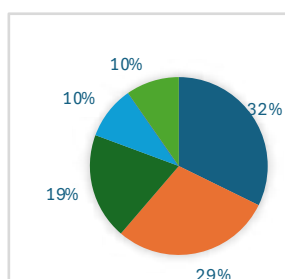


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

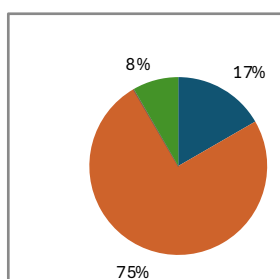
【初等部 1-3年】



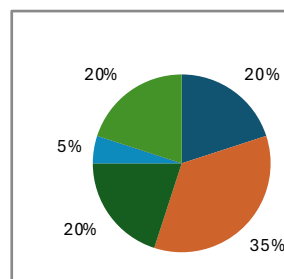
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



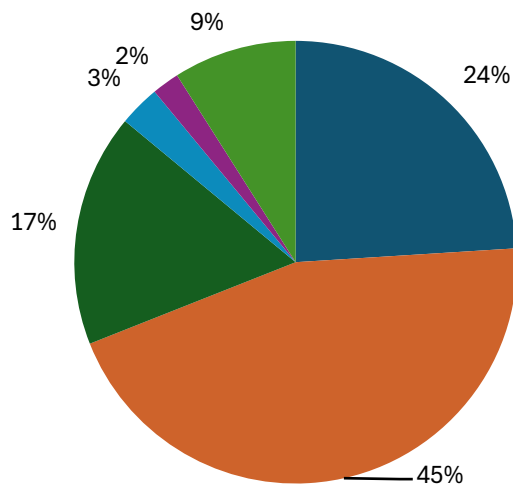
【高等部 10-12年】



【コメント】

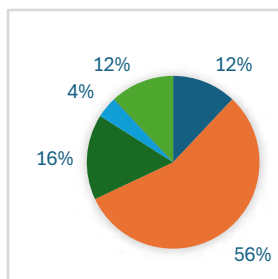
防/施 3-3 学校は、施設・設備をよく整備している

【学園全体】

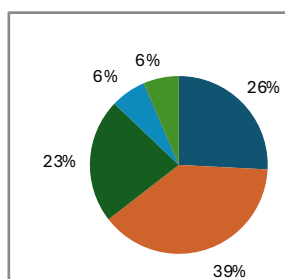


- 5 強く思う
- 4 思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

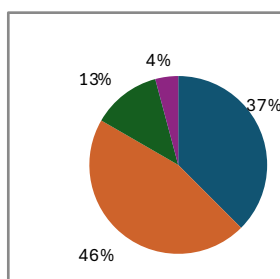
【初等部 1-3年】



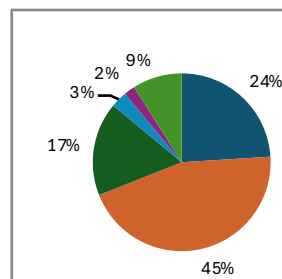
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



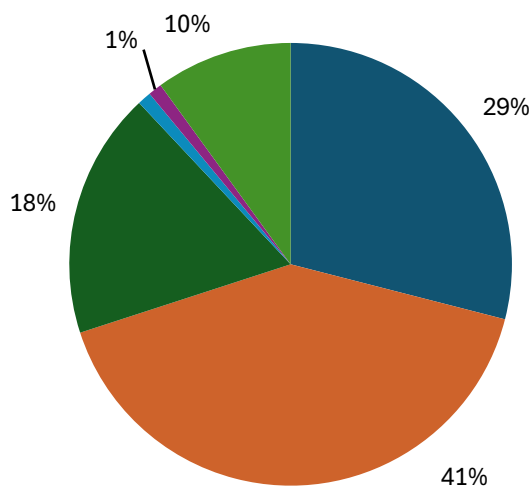
【高等部 10-12年】



【コメント】

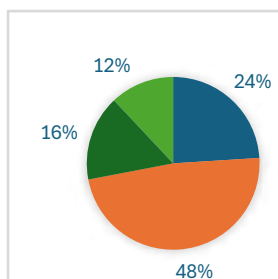
防/施 3-4 学校は、施設・設備を衛生的に管理している

【学園全体】

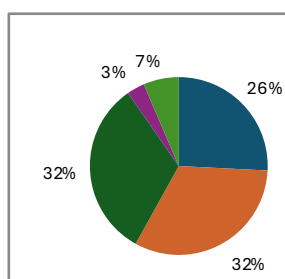


- 5 強く思う
- 4 思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

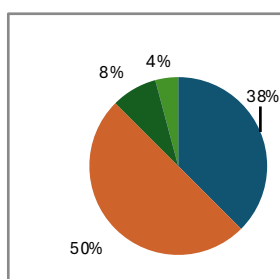
【初等部 1-3年】



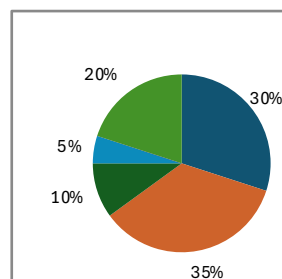
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



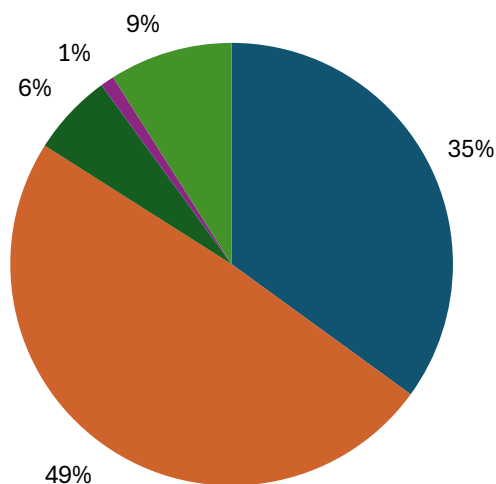
【高等部 10-12年】



【コメント】

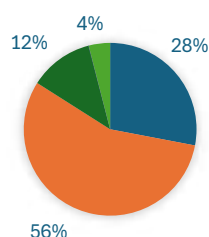
防/施 3-5 学校は、地震や火災等の場合、子どもに避難の仕方を知らせている

【学園全体】

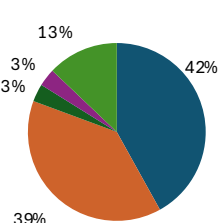


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

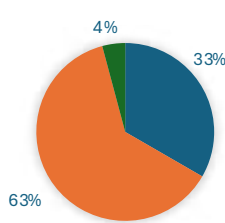
【初等部 1-3年】



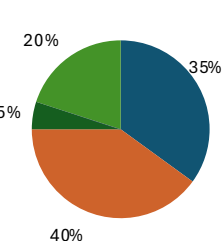
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



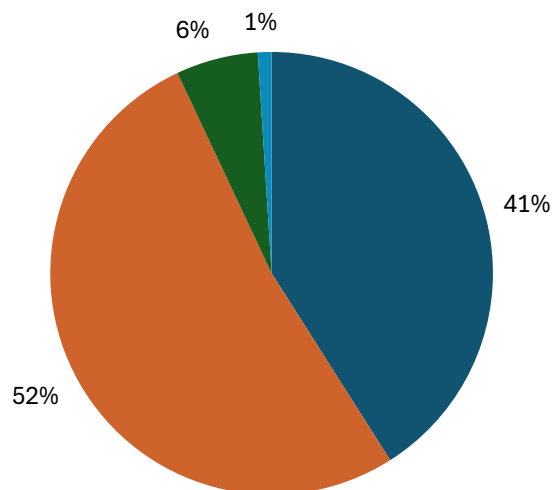
【高等部 10-12年】



【コメント】

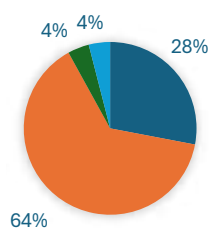
防/施 3-6 学校は、防災の連絡や防災のための情報を、保護者に適切に伝えている

【学園全体】

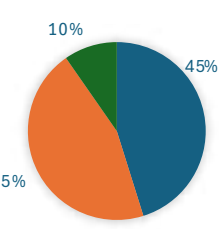


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

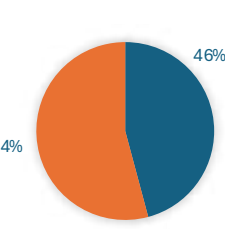
【初等部 1-3年】



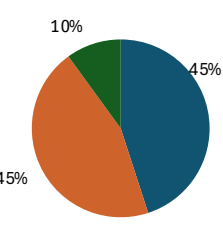
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



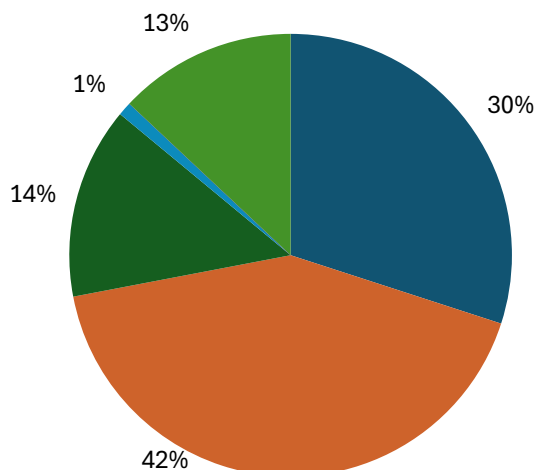
【高等部 10-12年】



【コメント】

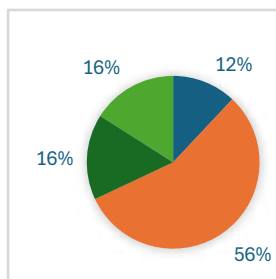
防/施 3-7 防災ホームページは役に立つ

【学園全体】

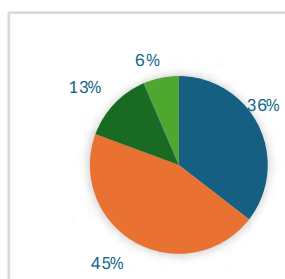


- 5 強く思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

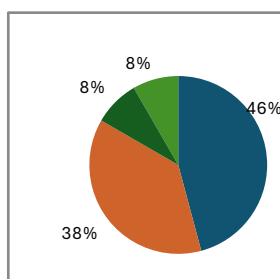
【初等部 1-3年】



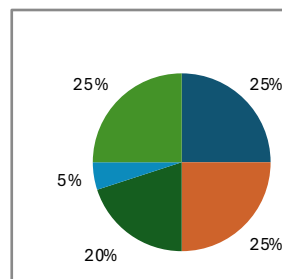
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

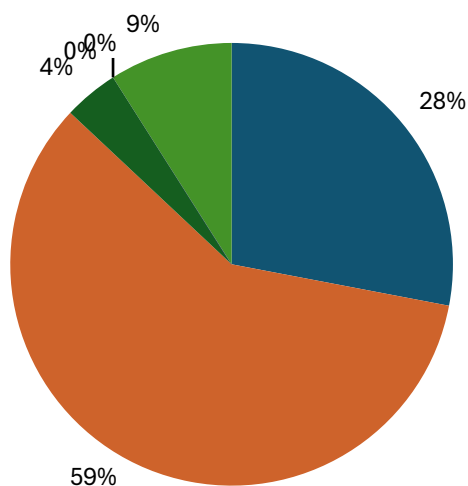


【コメント】

防災HPは教員情報収集用となっており、保護者のみなさまが必ずしも使いやすい形になっていないことが読み取れます。

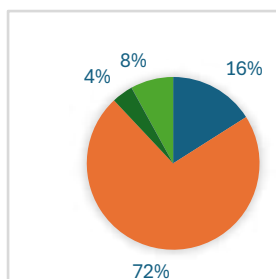
防/施 3-8 学校は緊急事態が起こったときの連絡を、適切に行っている

【学園全体】

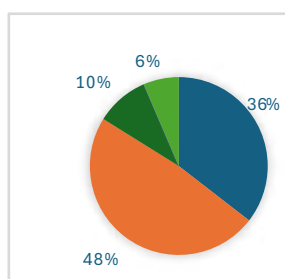


- 5 強く思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

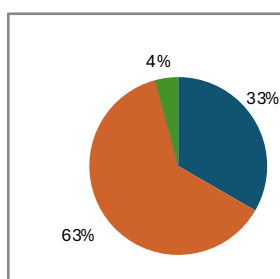
【初等部 1-3年】



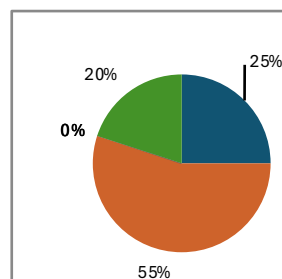
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

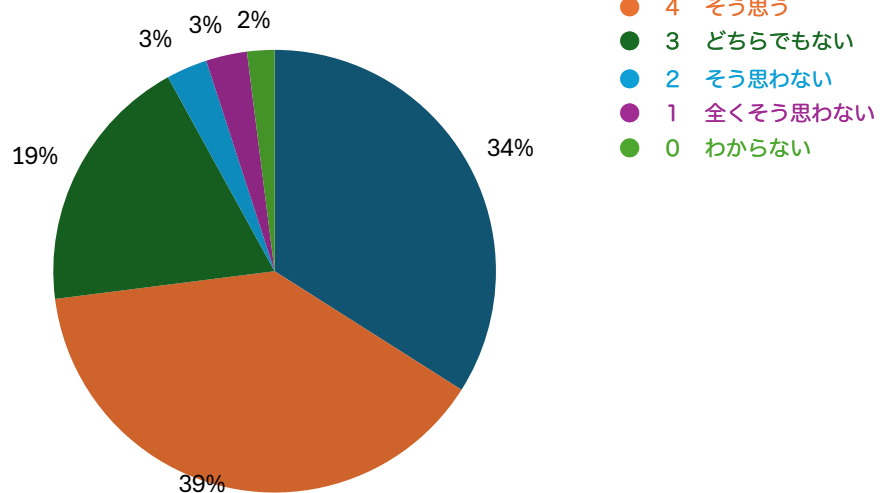


【コメント】

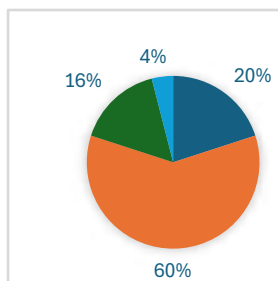
高等部には「引き取り訓練」がないということもあり、緊急時の対応が保護者に伝え切れていないと考えられます。

防/施 3-9 さくら連絡網は使いやすい

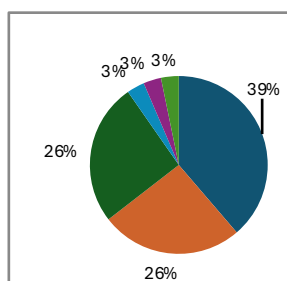
【学園全体】



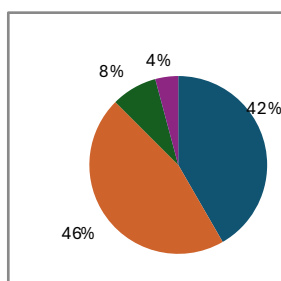
【初等部 1-3年】



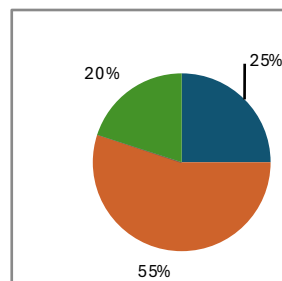
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】



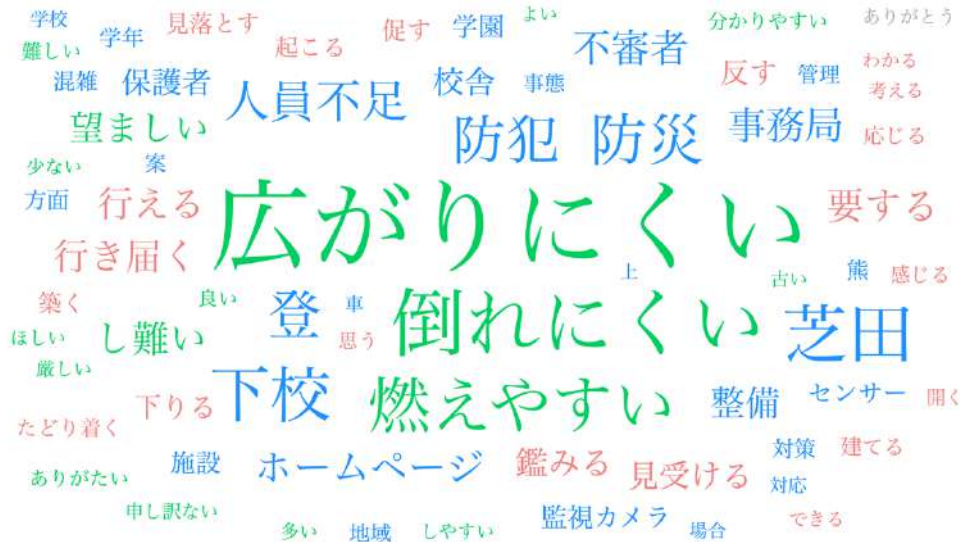
【コメント】

防災・防犯・施設部分：自由記述欄の AI テキストマイニング

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

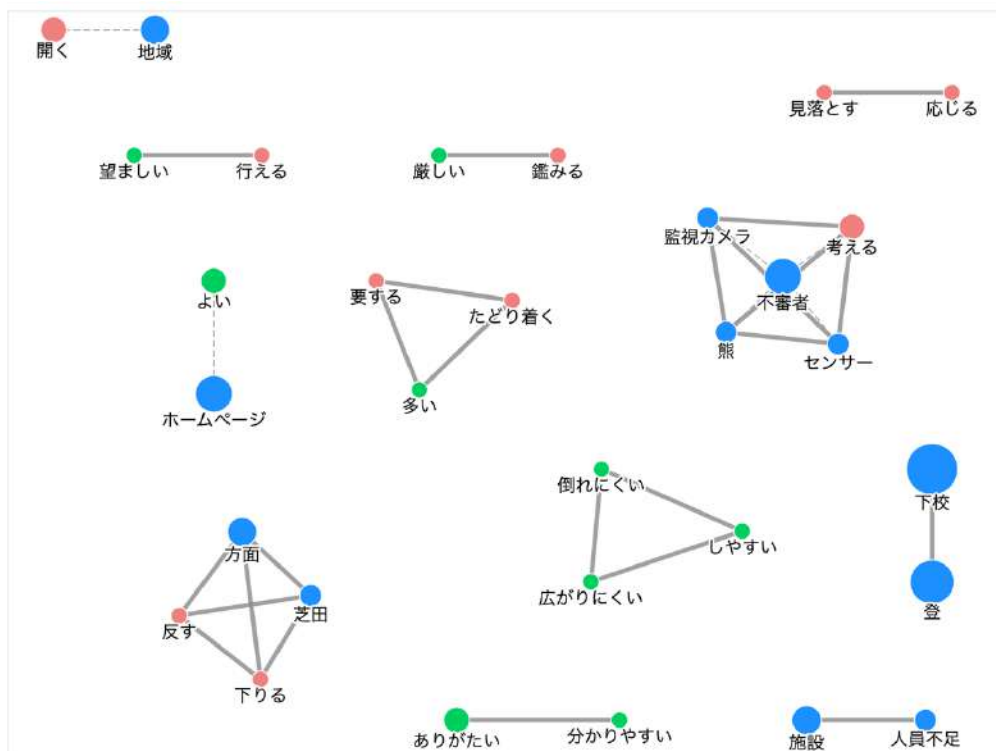
① 単語の「重要度」

自由記述の文章で使われた単語を「重要度(特徴ある単語と使用頻度が大きいもの)」で表しています。重要度の高いものほど大きな字となります。青は名詞、赤は動詞、黄緑色は形容詞、灰色は感嘆詞です。自由記述欄でキーワードになる単語集と言えます。



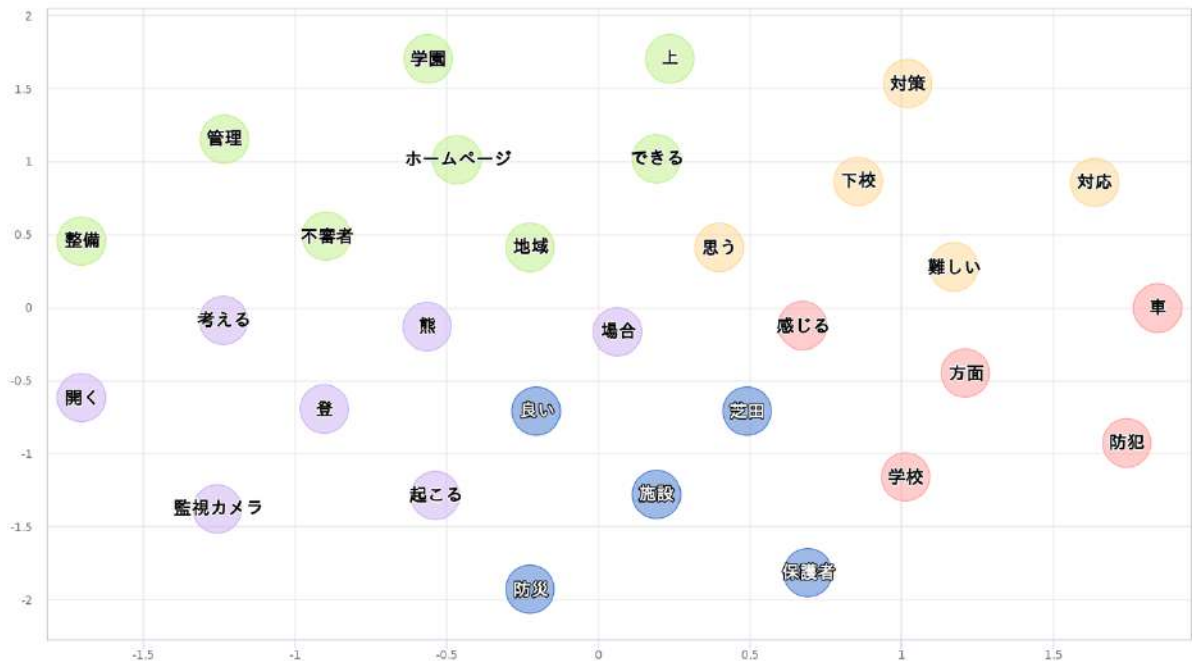
② どの単語同士が文章中で結びついているか：「共起頻度」

出現数が多い語ほど●が大きくなり、共起の程度は強くなると 太い実線 > 細い実線 > 破線 でむすばれます。どんな単語が結びつきやすかったかが推測できます。

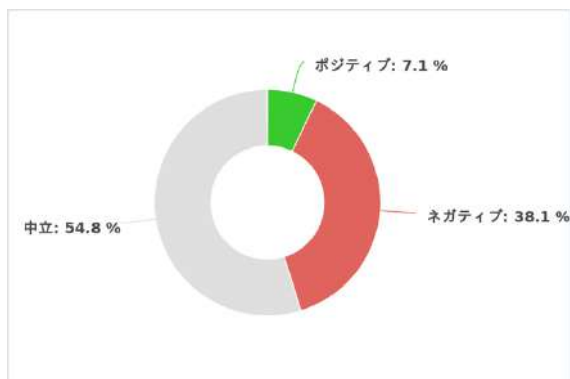


③ どんな文章ができていたか:「単語の2次元マップ」

文章中での出現傾向が似た単語ほど近くに配置されています。似ていない単語ほど遠く配置されています。距離が近い単語はグループにまとめ、色分けされています。この分析によって、どんな文が多かったかが推測できます。

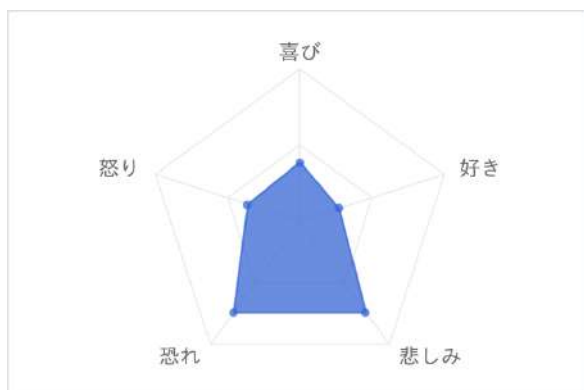


④ 文章中の感情の割合(1):「ポジティブ—中立—ネガティブ感情」



文書全体を分析し、感情の傾向を可視化しています。「ポジネガ」は、文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比を示しています。

⑤ 文章中の感情の割合(2):「5つの感情」



文章に含まれる各感情の度合いを数値に換算しています。なお、各感情の数値は、全ての感情の平均値を50とした偏差値です。

喜び:38.9
怒り:35.9
恐れ:74.0
悲しみ:74.0
好き:27.1

第Ⅳ部

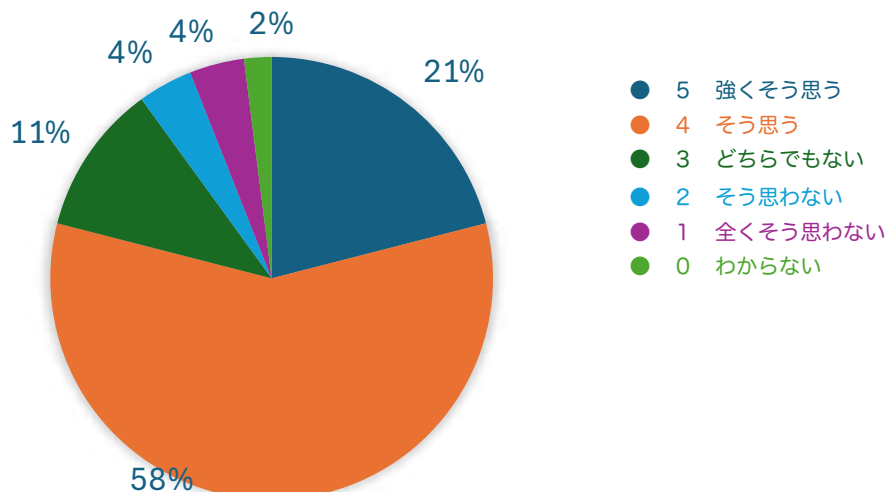
学校運営に関する9項目

<質問項目一覧>

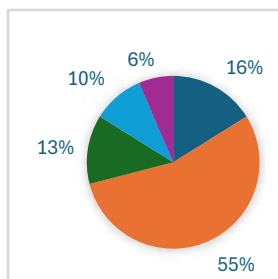
- ① 教師会は、シュタイナー学園の教育方針・内容を保護者が理解するための機会を作っている。
- ② 理事会は、シュタイナー学園の運営方針・内容を保護者が理解するための機会を作っている。
- ③ 学内会が何をする場所か知っている。
- ④ 学校には、保護者同士がつながるための機会がある。
- ⑤ 学校には、自分の力を発揮する場所がある。
- ⑥ 教員や理事は、保護者の学校運営に対する意見を聞く機会を適切につくっている。
- ⑦ 教員との信頼関係が結べている。
- ⑧ 理事との信頼関係が結べている。
- ⑨ 学校を運営するための、適切な教職員配置ができています。

運営4-1 教師会は、シュタイナー学園の教育方針・内容を保護者が理解するための機会を作っている

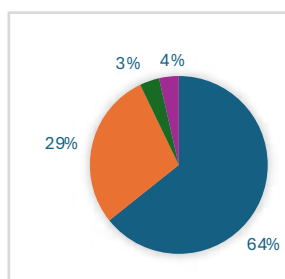
【学園全体】



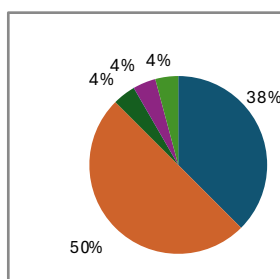
【初等部 1-3年】



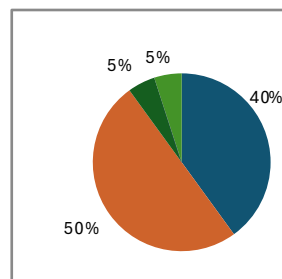
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



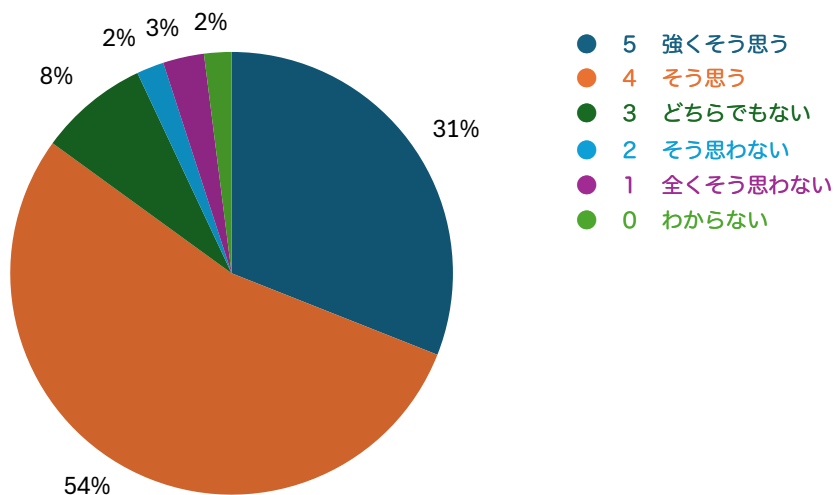
【高等部 10-12年】



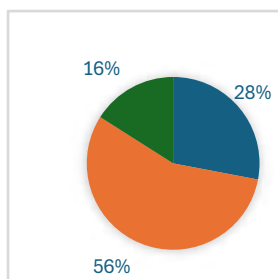
【コメント】

運営4-2 理事会は、シュタイナー学園の運営方針・内容を保護者が理解するための機会を作っている

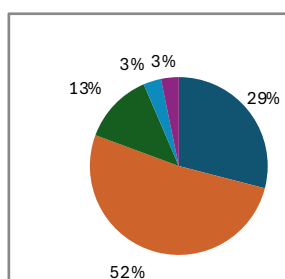
【学園全体】



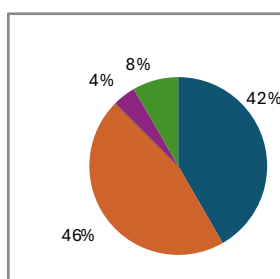
【初等部 1-3年】



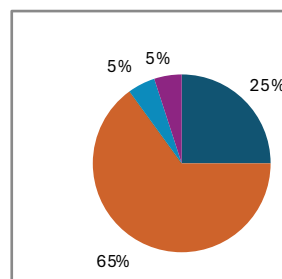
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



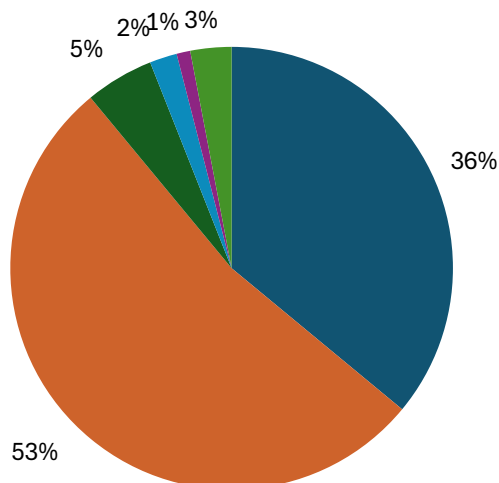
【高等部 10-12年】



【コメント】

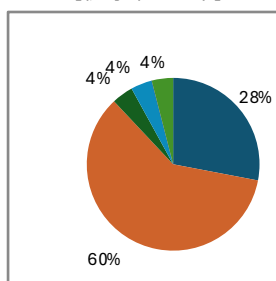
運営4-3 学内会が何をする場所か知っている

【学園全体】

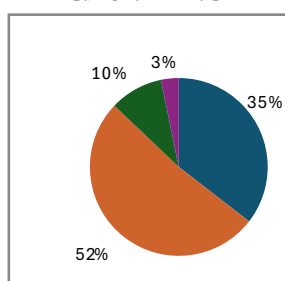


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

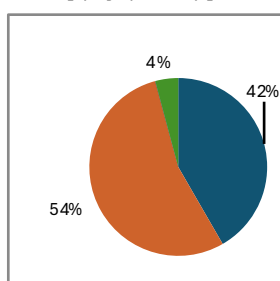
【初等部 1-3年】



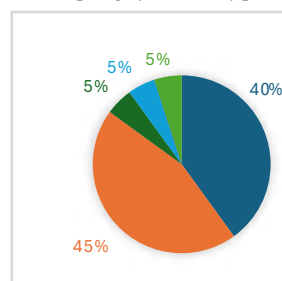
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



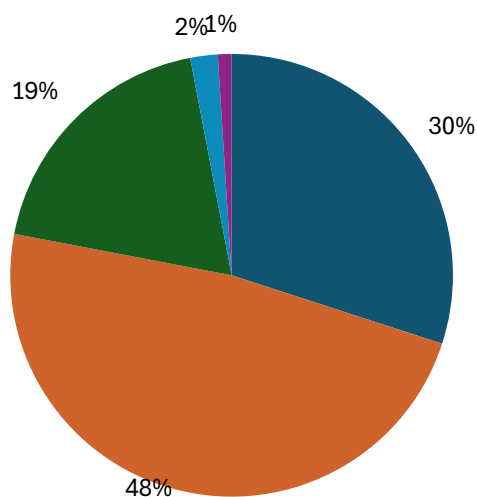
【高等部 10-12年】



【コメント】

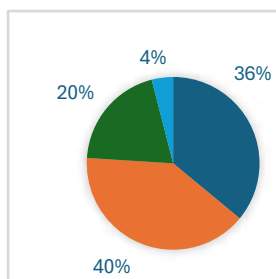
運営4-4 学校には、保護者同士がつながるための機会がある

【学園全体】

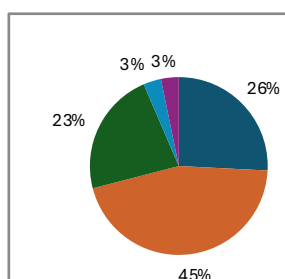


- 5 強くそう思う
- 4 そう思う
- 3 どちらでもない
- 2 そう思わない
- 1 全くそう思わない
- 0 わからない

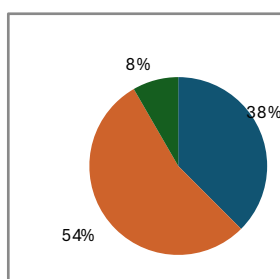
【初等部 1-3年】



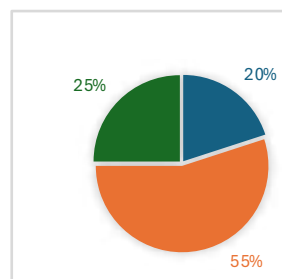
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



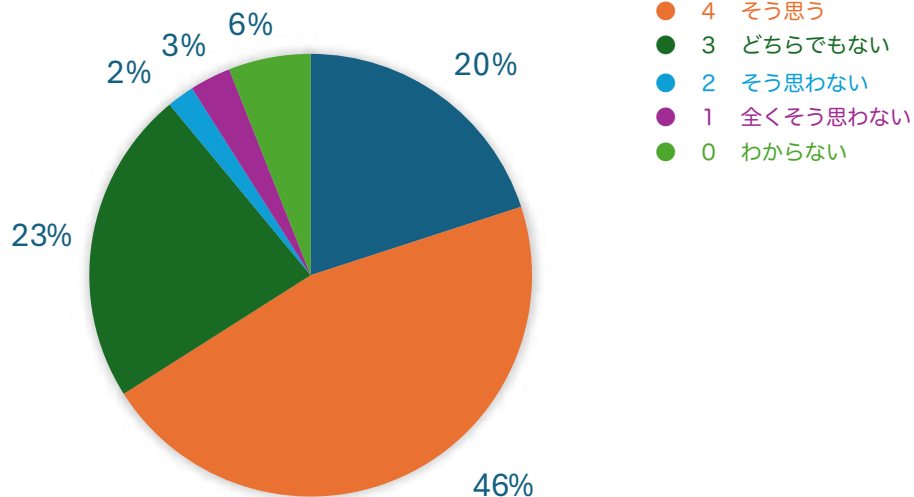
【高等部 10-12年】



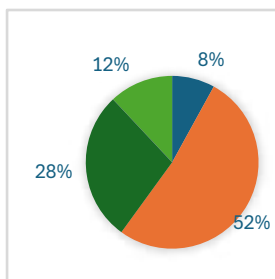
【コメント】

運営4-5 学校には、自分の力を発揮する場所がある

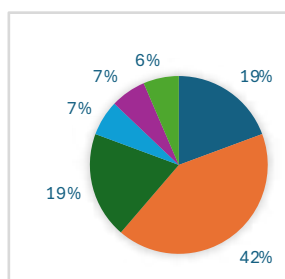
【学園全体】



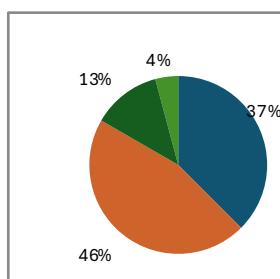
【初等部 1-3年】



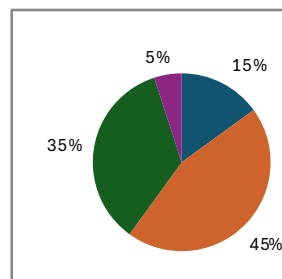
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

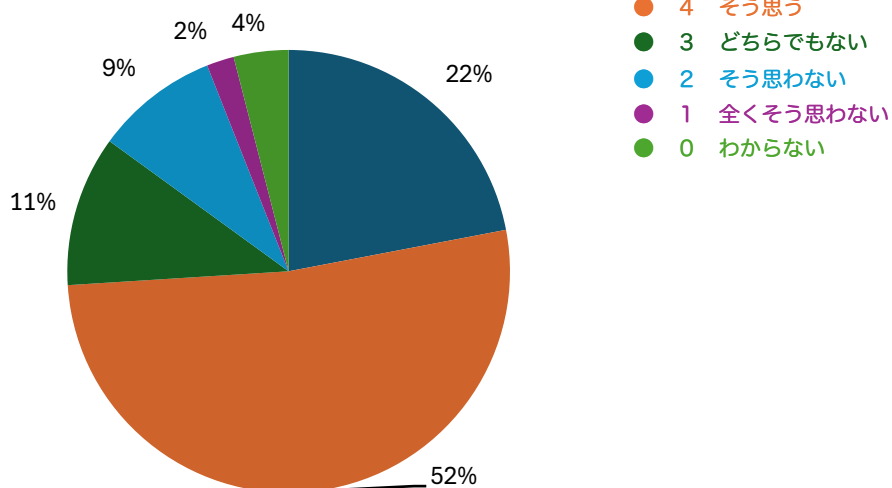


【コメント】

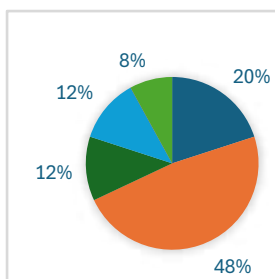
3割ほどのかたが、積極的に自分の力を発揮できる機会がないと感じているようです。

運営4-6 教員や理事は、保護者の学校運営に対する意見を聞く機会を適切につくっている

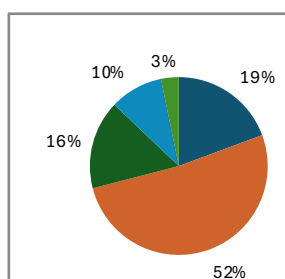
【学園全体】



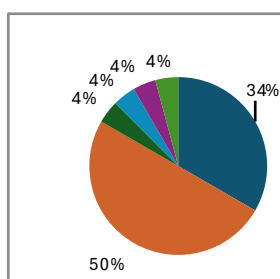
【初等部 1-3年】



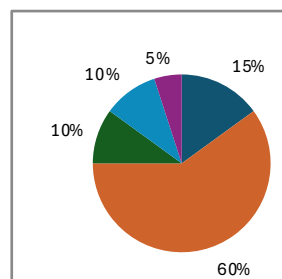
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



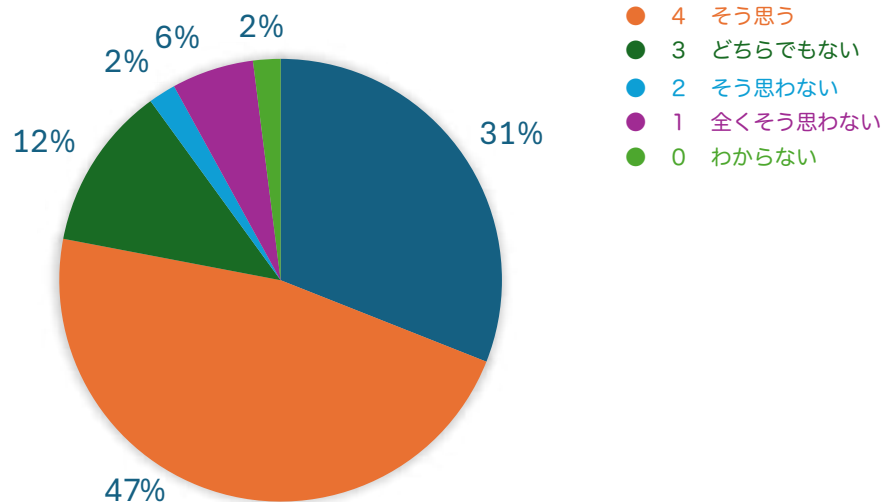
【高等部 10-12年】



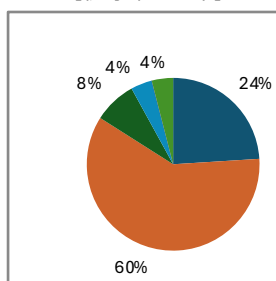
【コメント】

運営4-7 教員との信頼関係が結べている

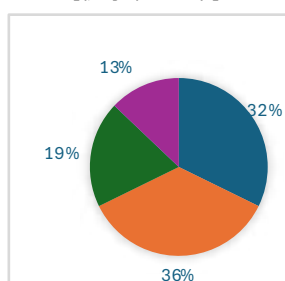
【学園全体】



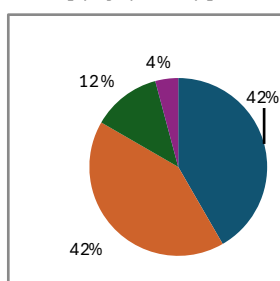
【初等部 1-3年】



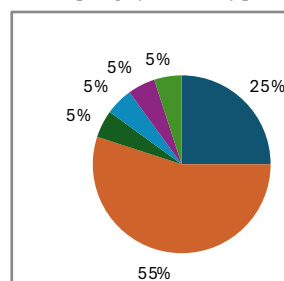
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



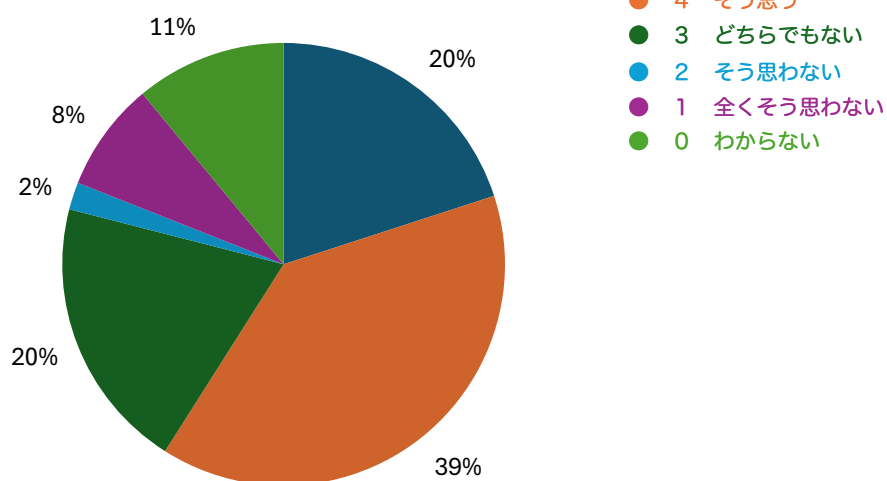
【高等部 10-12年】



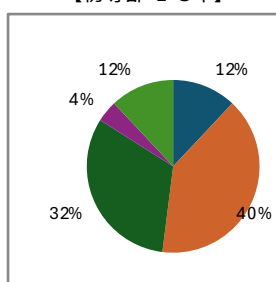
【コメント】

運営4-8 理事との信頼関係が結べている

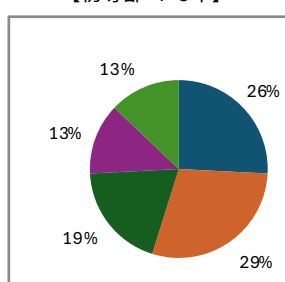
【学園全体】



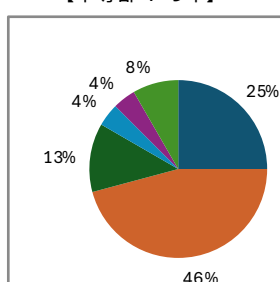
【初等部 1-3年】



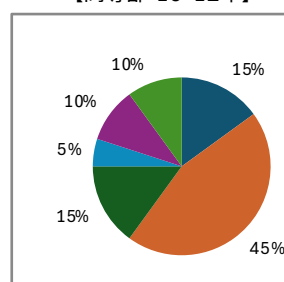
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



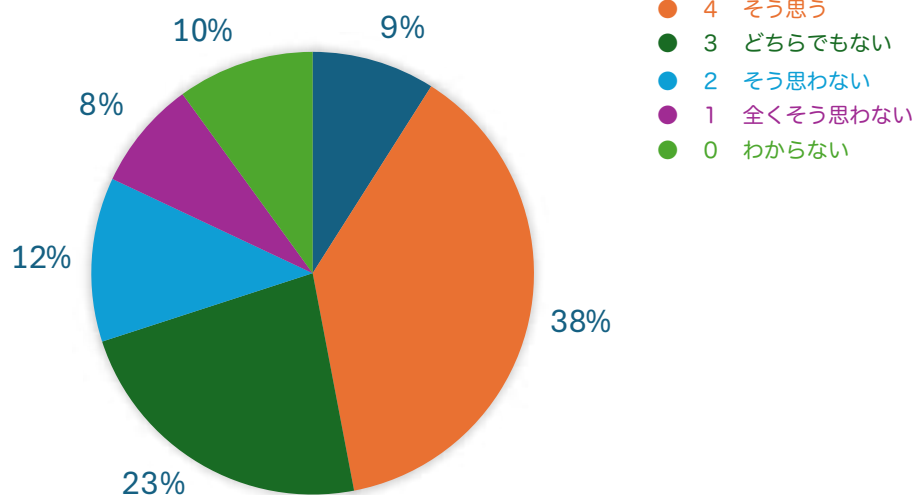
【高等部 10-12年】



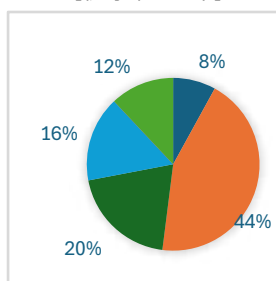
【コメント】

運営4-9 学校を運営するための、適切な教職員配置ができている

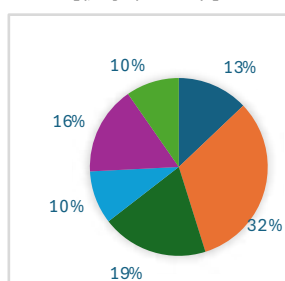
【学園全体】



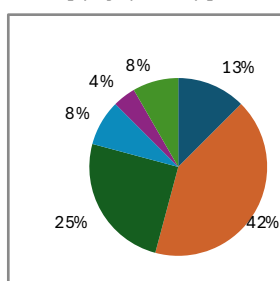
【初等部 1-3年】



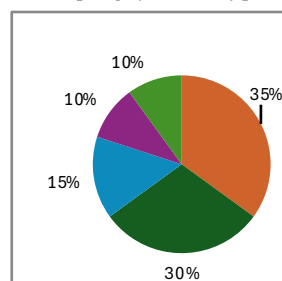
【初等部 4-6年】



【中等部 7-9年】



【高等部 10-12年】

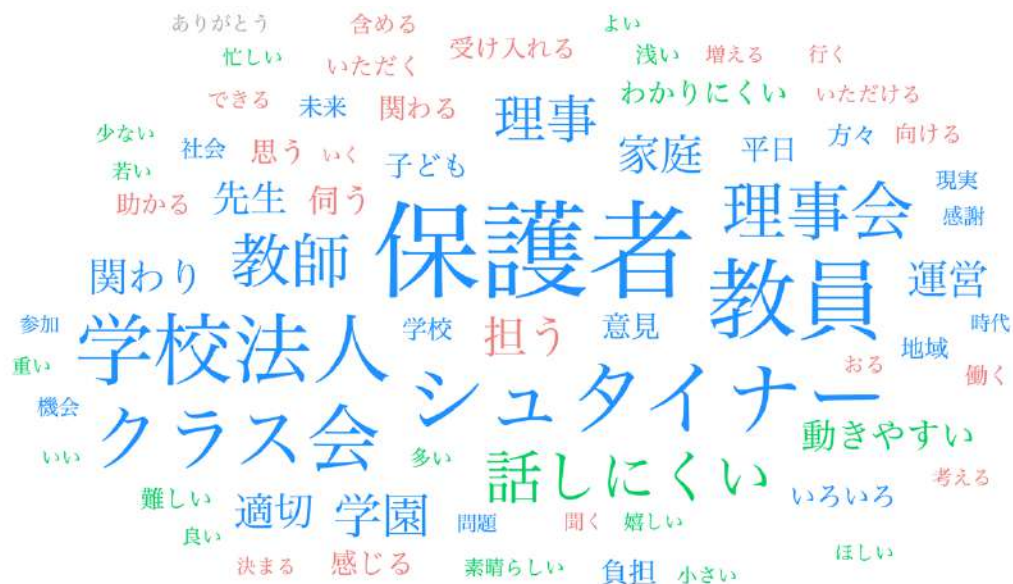


【コメント】

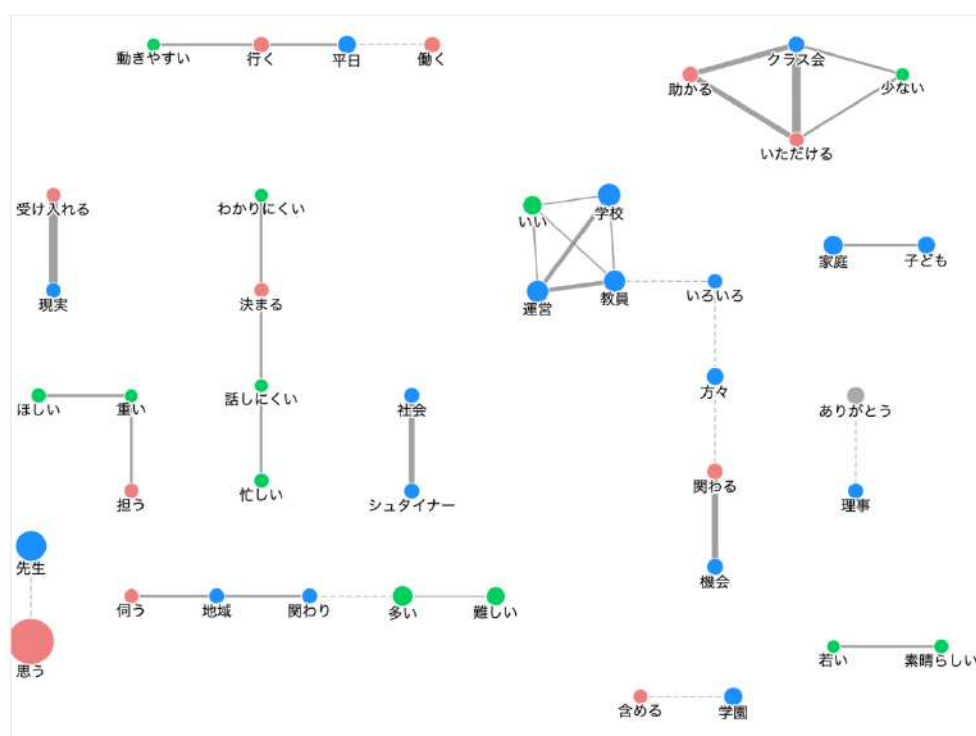
配置については、適切だと感じている保護者の方はそれほど多くないことが分かります。

※ユーザーローカル テキストマイニングツール(<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析

自由記述の文章で使われた単語を「重要度（特徴ある単語と使用頻度が大きいもの）」で表しています。重要度の高いものほど大きな字となります。青は名詞、赤は動詞、黄緑色は形容詞、灰色は感嘆詞です。自由記述欄でキーワードになる単語集と言えます。

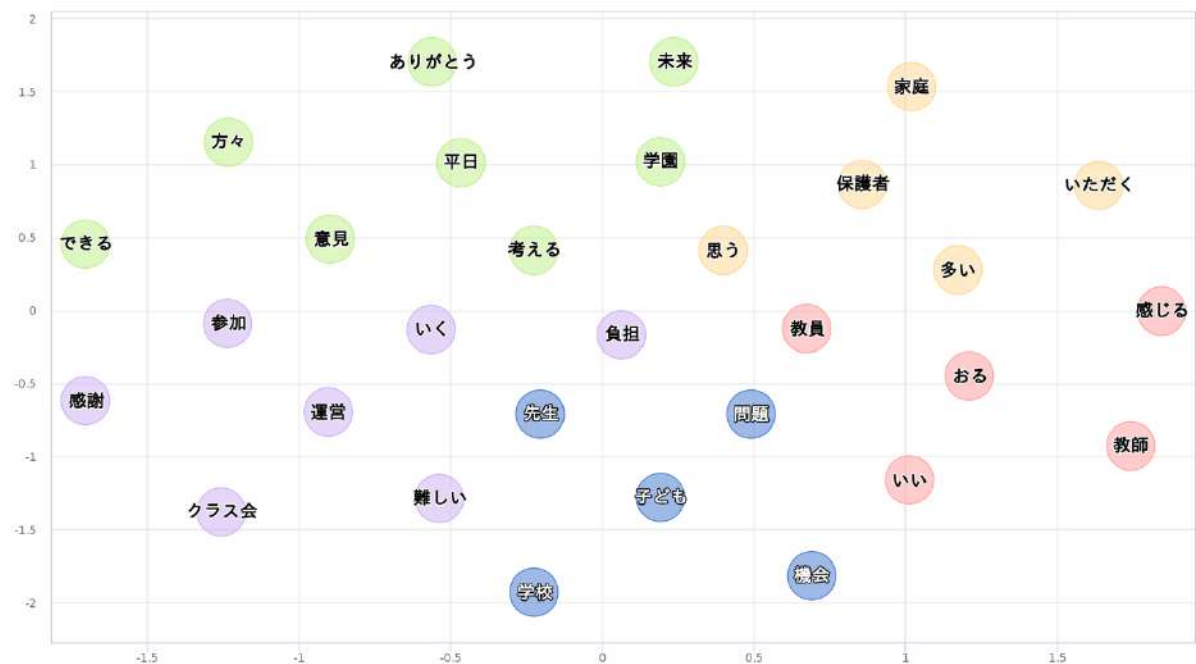


出現数が多い語ほど●が大きくなり、共起の程度は強くなると 太い実線 > 細い実線 > 破線 でむすべれます。どんな単語が結びつきやすかったかが推測できます。

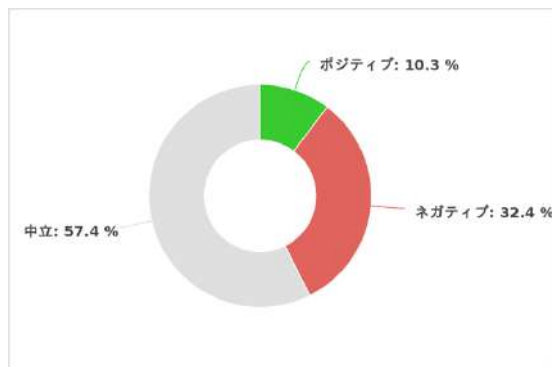


③ どんな文章ができていたか:「単語の2次元マップ」

文章中での出現傾向が似た単語ほど近くに配置されています。似ていない単語ほど遠く配置されています。距離が近い単語はグループにまとめ、色分けされています。この分析によって、どんな文が多かったかが推測できます。

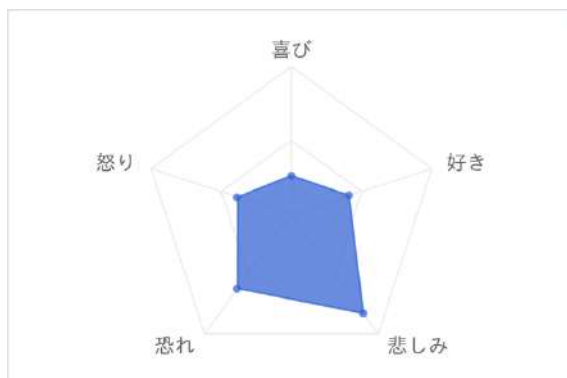


④ 文章中の感情の割合(1):「ポジティブ—中立—ネガティブ感情」



文書全体を分析し、感情の傾向を可視化しています。「ポジネガ」は、文章に含まれるポジティブな感情の文とネガティブな感情の文の存在比を示しています。

⑤ 文章中の感情の割合(2):「5つの感情」



文章に含まれる各感情の度合いを数値に換算しています。なお、各感情の数値は、全ての感情の平均値を50とした偏差値です。

喜び:26.2
怒り:38.1
恐れ:61.9
悲しみ:82.7
好き:41.1

2. アンケート考察と2024年度への課題

第Ⅰ部 教育部分

- ① アンケート項目 1-3 より、新しいことを始める学年の生活リズムが乱れがちになるのではないかとこの考察ができる。4-6 年生や新しい生活が始まる 9,10 年生家庭と児童生徒への両面のフォローを熱くする必要がありと考えられる。
- ② アンケート項目 1-4,5 より、高等部生徒の学校外での学びの環境で何らかのフォローが必要かと考えられる。将来の進路の相談を土台とした家庭学習への意識を高めるための方策を、高等部教員が中心となって考えていく必要がある。
- ③ アンケート項目 1-6 より、挨拶の習慣は中高等部になるに従い、できるようになることが見て取れるが、初等部の児童たちの挨拶の定着がなされていないことは以前から指摘されている。挨拶について教員がどのように考えているかを初等部の教員を中心に再考する必要があると考えられる。
- ④ アンケート項目 1-8、4-1 より、保護者に向けてのカリキュラムへの説明がやや不足していると考えられる。低学年への説明については継続的に行うことを軸として、高学年の各カリキュラムについても学内に周知していく方策を作っていく必要があると考えられる。

第Ⅰ部では「シュタイナー学園」に入れて良かったと考えている保護者が96%を超えていることが分かった。だからといって全てがよいというわけではないことを肝に銘じ、日々、自己と学校を成長させていく意識を教職員が持ち続けていく必要があることが、頂いた多くのご意見から感じることができる。

第Ⅱ部 生徒指導部分

- ① アンケート項目 2-3 より、子どもからの相談体制が7 年生以上の学年では確立してきていることが分かるが、初等部を中心に子どもからの相談体制を強化していく必要性があることが分かる。手厚い人員配置が必要になっていくことが予想される。特に、子どもの意識が目覚め始める4年生から前思春期となる6年生までの人員配置が2024年度の課題となる。
- ② アンケート項目 2-8 より、児童生徒のマナーやルールへの感覚がどのように育まれるのかについては、明確に意識されていないことが考えられる。高等部では、2024 年度自分たちの手でルールを整備していく試みを行う予定である。
- ③ アンケート項目 2-9 より、いじめが発生したときの学校の対応について「わからない」と回答した保護者が3割いることが判明した。学校が行っている「いじめ対策」についての情報発信をしっかりと実施していく必要がある。

第Ⅲ部 防災・防犯・施設部分

- ① アンケート項目 3-1,2 より、災害対策ほどには防犯対策がなされていないことへの不安が浮き彫りになった。日々の防犯に対する人員不足を指摘する声もあり、防犯監視カメラなどの具体的な対応を早急に進めていく必要がある。
- ② アンケート項目 3-3,4 より、施設・設備の管理に充分に手が行き届いていないのではないかと考える保護者の方々が2割ほどおり、1割の方々が管理の必要性が分からないという結果となった。学校の建物についてよく知っていただき、何が必要なのかを共有し将来に備えていくことが重要だと考えられる。
- ③ アンケート項目3-5, 6,8 より、学園が防災について多くの情報を発信していることは伝わっていることが分かったが、実際に子どもたちがどんな避難訓練をしているかはうまく伝わっていないことも判明した。特

に高等部は引取訓練がないため、より意識が低くなってしまっていることがある。2024 年度は、実際の訓練についての情報発信を行うこととしたい。

- ④ アンケート項目 3-7 より、防災 HP が保護者にとっては使いづらいことが明確になった。教員が安全確保のため気象状況の情報を多く集める必要があるため情報過多のサイトとなってしまっている。今後の HP の方向性をどのように決めればよいのかを検討していく必要がある。

第Ⅳ部 学校運営部分

- ① アンケート項目 4-8 より、理事との信頼関係があまり結べていないと感じている保護者が4割ほどいることが分かった。7名いる理事の4名が保護者（元保護者）で、常勤の理事ではないので、実際に学校の現場に多くの時間を割けないため、この結果は至極当然のものであると考えられる。私学法が 2026 年度から改正されるのに合わせ、学内の組織のあり方も変容させ、理事の仕事の負担が減らせるよう、常勤教職員の配置やありようを変化させ、理事の役割を整備していく必要がある。理事会では、そのことを現在検討中である。
- ② アンケート項目 4-9 より、約半数の保護者が、学園運営のための人員配置に何らかの無理が生じていることを感じていることが分かった。人員配置については、様々な要素が絡み合っているため、整備には体力と工夫が必要である。新しくできて運用中の学内の連携システム(Band)等を使い、学園に集う人たちが自分の力を発揮する場所を気持ちよく開拓していく工夫を継続していく必要がある。

3.最後に

シュタイナー学園の教育活動、運営の活動全般に、多くの方にご理解を示していただいていることに、多くの感謝を申し上げます。教職員・理事が保護者のみなさまとの間に、共通理解を少しずつ増やしつつ、子どもの成長を支えるパートナーとして関係を構築していけるよう、日頃から健康的に自己教育を行い、健康的な組織作りをしていきたいと思ひます。今後とも、どうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。